

## 平成30年度 事業報告

当協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らしていただけること」を基本に、地域の皆様がそれぞれの地域で自立し、お互いに支え合い、助け合いながら共に生きることができる地域社会、「支え合い助け合いのある顔の見えるまち かめおか」の実現を目指し、各事業に取り組んでいます。

今日、社会を取り巻く状況は、急速に進展する少子高齢化や社会・経済状況の大きな変化に伴い、地域や家庭で支え合い助け合う関係が希薄化し「生活困窮」や「社会的孤立」の解消が喫緊の課題となっています。

このような既存の福祉制度等の狭間から生じる社会的課題に対しまして、各地域の課題を把握し、地域住民の皆様及び関係機関・団体の皆様と協働して問題解決に取り組みました。

当協議会では、地域福祉の推進をより一層進めるため平成28年度に策定した「改定版かめおか地域福祉活動計画」に基づく「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の4つの基本目標達成のため各事業を実施しました。

平成30年度の各事業につきましても、常に住民の皆様と同じ目線に立ち、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者など多くの皆様、そして亀岡市をはじめ行政機関のご理解、ご協力及びご支援をいただき、地域福祉の更なる推進、利用者個々のニーズに応じたより質の高い介護保険サービス等の提供に向け各事業を実施しました。

また、平成30年度においては、「平成30年7月豪雨」や「平成30年9月短期集中豪雨」にともない災害ボランティアセンターを非常時体制に移行し、多くのボランティアの皆様の支援を受け活動を行ったところです。

平成30年度も当協議会の事業推進のため、多くの市民の皆様等から尊い寄付金・寄付の品々、また、市民福祉のつどい開催における協賛金等をいただき心から厚くお礼申し上げます。

以下、平成30年度の各事業につきまして、その概要を報告します。

# 平成30年度 事業概要

※事業項目の横に次のロゴで財源を記載しています。

<b>亀岡社協</b>	社協会費等の自主財源や基金の運用益	<b>赤い羽根</b>	毎年10月～3月にかけて実施する「赤い羽根共同募金」の配分金
<b>歳末募金</b>	毎年12月に実施する「歳末たすけあい募金」配分金	<b>利用料</b>	参加者や利用者の負担金
<b>補助委託</b>	亀岡市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業	<b>介護保険</b>	介護保険事業収入
<b>障害福祉</b>	障害福祉サービス等事業収入		

※地域福祉活動計画の各事業については、事業名の横に次のロゴで目標を記載しています。

<b>人づくり</b>	基本目標1・地域福祉の担い手を育て「人づくり」	<b>絆づくり</b>	基本目標2・共に支え合う地域の「絆づくり」
<b>地域づくり</b>	基本目標3・住民主体の地域福祉を推進する「地域づくり」	<b>基盤づくり</b>	基本目標4・社協活動への理解と参画を広げる「基盤づくり」

## 1. 法人運営

**亀岡社協**

**利用料**

**基盤づくり**

担当：総務管理係

平成30年度は、年間を通して台風、地震、豪雨等の災害が全国的に多い1年でした。亀岡におきましても、特に7月及び9月の豪雨による甚大な被害が出た地域に対して、当協議会は災害ボランティア活動を行いました。災害を通しより一層、地域福祉活動計画の「人づくり、絆づくり、地域づくり、基盤づくり」の目標を大切に各事業に取り組んでまいりました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、人口増加が見込めない厳しい状況の中で、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解とご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額9,853,900円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付を合わせて総額3,480,595円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

平成29年度から取り組んでおります「ふくかめ自動販売機」（寄付付き自動販売機）の設置は、平成30年度におきましても引き続き積極的に推進し、自治会及び設置関係者、自動販売機事業所のご理解とご協力のもと、3台設置することができました。

また、職員に資質向上と人材確保に向けて、「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を受けました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・フェイスブック・社協かめおか等で広報活動を行いました。

## 2. 地域福祉推進事業

亀岡  
社協

赤い  
羽根

補助  
委託

利用  
料

絆づくり

地域づくり

住民の皆さんから日々寄せられる暮らしの困りごとに対して、生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。また、「地域共生社会」の実現のため、地域住民一人ひとりが「支え手」と「受け手」という関係を超えて、支え合い助け合いのできる地域コミュニティをめざしその仕組みづくりの構築、またひきこもりや社会的孤立問題など、地域の福祉的課題に対しても重点を置いて取り組みました。

### (1) くらしのサポートサービス事業

担当：生活支援係

住民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ家事援助や外出同行などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は72名（前年度比+7名）となりました。

### (2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

担当：地域福祉係

平成29年度より高齢者介護予防拠点活動支援事業に名称変更となり、毎回、体操を取り入れるなど従来よりも介護予防に重点を置いた取り組みを行いました。併せて、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として、日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供することにより、心身の健康保持に努めました。活動回数は50回で延利用人数は359人（前年度比△58人）となりました。

### (3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

担当：生活支援係

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。年度末利用者数は38名で、前年度と比較し1名減少しました。

しかしながら、活動回数については利用者個々の状況により、年間延べ1,170回（前年度比+59回）と増加しました。お一人ひとりの抱える課題が重層かつ複雑化してき

ており、1 件に関わる時間は増加傾向となっています。

#### (4) 生活福祉資金貸付事業

担当：生活支援係

低所得者世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し資金貸付けを行いました。

近年の経済・雇用状況がゆるやかに改善する中で、生活福祉資金の相談件数・貸付件数は減少傾向にあり、平成 30 年度については総合支援資金の貸付はなく、福祉資金・教育支援資金合わせて計 46 件、総額 19,166,000 円（前年度比△4 件、+547,000 円）の貸付となりました。

#### (5) 福祉金庫資金貸付事業

担当：生活支援係

住民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした当協議会独自の貸付制度です。平成 30 年度の福祉金庫貸付実績は合計 2 件で、総額 40,000 円（前年度比△11 件、△220,000 円）の貸付となりました。

#### (6) 亀岡市生活支援体制整備事業

担当：地域福祉係

平成 30 年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら、地域資源・ニーズの把握・地域資源の開発・ネットワークの構築・ニーズと取り組みのマッチング等に取り組みを進め、2025 年迄の亀岡市における地域包括システムの構築を目指しています。

今年度においては、今後の亀岡市における住民主体によるまちづくりを進める核となる、亀岡市が設置する第 1 層協議体委員会を開催することが出来ました。亀岡市、第 1 層生活支援コーディネーターと連携を図り、亀岡市が目指すまちづくりを推進しました。

##### ① 生活支援コーディネーターとの連携・協働

半期において、生活支援コーディネーターとして、新規に配置された 2 名と共に、亀岡市と連携しながらモデル地域の居場所づくりの取り組みを進めてきました。

##### ② 第 1 層協議体運営と第 2 層協議体設置に向けての活動

第 1 層協議体設置について、月に 1 回の勉強会で「亀岡流」の協議体設置への模索を続ける中、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体とし

て、市が設置を目指す協議体委員に対して勉強会メンバーから、市協議体研究会に候補者 5 名を協議体委員として、第 1 回協議体委員会を開催することができました。

亀岡市全体のまちづくりを考える場として、各地域の課題などを協議しました。

### ③ 亀岡市他関係機関との連携・協議

事業の推進にあたっては、本年度も市高齢福祉課との連携・協議を重ねながら事業に当たってきました。また、NPO 法人でまちづくりに取り組まれている、市民活動推進センター等から選出された、生活支援コーディネーターとの連携・協議しながら事業推進出来たことは大きな成果でした。

### ④ 亀岡市「京都式介護予防プログラム普及促進事業」の取り組み

今年度後期事業として亀岡市より受託を受け、京都学園大学と協働して作成した口腔・栄養・運動を取り入れた「健康長寿かめおか“お宝“ノート”を用いて、亀岡市のサロン等で介護予防に取り組んでもらうことが出来ました。一方で、亀岡市が行っている「介護予防サポーター」の養成講座を卒業した方の中から、「市民サポーター」として希望のあったサロンに派遣し、地域活動デビューの支援をしました。

### (7) 福祉生活課題解消支援事業

担当：地域福祉係

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制を構築する事ができました。

### (8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

担当：地域福祉係

地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援と、社会的孤立防止対策としての地域の理解促進を目的に事業を展開しています。

#### ア．地区社会福祉協議会の推進及び支援

地区社会福祉協議会は市内 12 地区で組織されており、研修会への参加促進や助成金支援等、各地区社会福祉協議会の活動支援を積極的に行うとともに、設立されていない地区につきましても、引き続き地域のニーズを把握し、地域の実情に応じた組織づくりへの支援を行いました。

#### イ．地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

一人暮らし高齢者世帯等の戸別訪問や、サロン活動による見守り等によって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るた

め、自治会、地区社協等計 14 団体（6 自治会、4 地区社協、老人クラブ・NPO 等 4 団体）に訪問見守り活動の支援を行いました。

また、亀岡市内にある住民の集まりの場、みんなの居場所、コミュニティ活動の場となるサロン活動紹介BOOKを発行することができました。

福祉の出前講座としては、小さい単位で地域に出向き地域住民の皆さんやサロン参加者へ理解をしてもらうための講座を開催し、通報活動等への協力を求めました。これらの取組みの他、出前講座として、シルバー人材センターや郵便局職員向けに講座を行い、見守り通報活動等への協力を求めました。

#### ウ．見守りサポーター養成講座

要配慮者の見守り支援を行うサポーターの養成と活動の充実を図るため、定例会や研修会を開催しました。また、家族教室では、当事者家族と関わる機会を設けました。

#### エ．青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象にした家族教室を 5 回シリーズで開催すると同時に個別相談にも応じる体制を整えました。

#### オ．要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月 1 回、市と社協の担当で検討会議を開催し、事業の進行状況の確認や個別ケースについて協議しました。

#### カ．地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

地域で開催されているサロン活動については、生きがい活動と元気に暮らすきっかけをつくり、地域の見守り活動も兼ね、地域住民のつながりを深める活動であり、各地域では活発に行われ広がりをみせています。今年度も新たに立ち上がったサロンへの支援や年間を通じての随時訪問や研修・交流会を実施し支援を行いました。

また、今年度はサロン活動紹介BOOKを発行し、関係機関への情報提供を行い、サロン活動者やこれから始めたい方に活用していただいています。

今年度は、7 回目となる「きょうと地域福祉活動実践交流会」を亀岡市社協が参画する京都市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロックが中心となり開催しました。

当日は、京都府内から約 800 人が参加し基調講演の他、活動交流として府内で実践

されている 50 団体が活動内容を展示し参加者の交流を行いました。各地域での活動の現状や課題を把握し、新たな展開を考える機会となりました。

### (9) 福祉用品貸出事業

担当：総務管理係

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に供するため、ベッド 35 件（前年度比+13 件）、車イス 132 件（前年度比+21 件）の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への支援を目的に、合計で 126 件（前年度比△4 件）のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。

## 3. ボランティア活動支援事業

亀岡  
社協

補助  
委託

人づくり

担当：地域福祉係

ホームページ、社協かめおか等で、ボランティア活動の情報提供によるボランティア団体への支援とともに、活動を推進するための講座を開催しました。また、平成 28 年度に見守り、相談支援の必要な人に対して寄り添い支援を行う“社協寄り添いサポーター”講座を行いましたが、今年度もその講座を受けたサポーターが、対象者宅を訪問し、引き続き傾聴や情報提供活動を行いました。

今年度は前年に引き続きボランティアグループ、ボランティア活動をされている市民の方々を対象とした『ボランティア 7 の日』を設定し、前年受講した方も対象に講座を開催し、更なるパソコンのスキルアップと活動のレベルアップの支援を行う中、ボランティアグループ同士の繋がりや関係づくりの支援を行いました。

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくるボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄付をいただき、プルタブで 580.7 キロ（昨年度比+231 キロ：800 キロで車椅子 1 台と交換）、エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代として寄附するため約 480,000 個（昨年度比+72,000 個：キャップ 800 個でワクチン 1 人分）を収集することができ、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

また、学生との連携として、亀岡中学校学習探求部の生徒と共に様々なボランティアに取り組むことができました。

災害ボランティアセンターについては、7 月豪雨、9 月短期集中豪雨において非常時

体制に移行し、被災者へのボランティア派遣を行ないました。これまで経験したことのない土砂災害の対応を、亀岡市、自治会、関係機関、近隣社協などの連携協力を得て災害ボランティアの派遣を行ないました。その活動内容を伝える展示を市民福祉のつどいでも行い市民への啓発を行いました。

また、去年に引き続き、つつじヶ丘地区民生委員児童委員協議会で取り組まれた「要配慮者の救護・誘導について」の訓練に参加させて頂き、災害時の民生委員としての動きの確認や協力体制について一緒に検討することが出来ました。

防災に意識を向けて頂く取り組みを年間通して、各関係機関等と連携し、防災・減災に向けた取り組みを行うことが出来ました。

#### 4. 福祉教育

赤い  
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

福祉協力校の指定を受けた市内小中学校において今年度は20校が、各学校での福祉活動をサポートするため、障がい者・高齢者の方への理解を目的とした福祉ボランティア体験事業を実施するとともに、中学生及び高校生を対象とした社会福祉体験学習事業を実施しました（参加者高校生9名）。

#### 5. 各種団体への支援

亀岡  
社協

赤い  
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

##### ① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

##### ② 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

##### ③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開



し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。会員は約 235 家族で、会議への出席や事業支援を行っています。

#### ④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 51 の老人クラブが加盟する約 2,450 名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。

#### ⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

## 6. 介護保険 介護予防・生活支援サービス事業

介護  
保険

補助  
委託

介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の 3 事業を行い、「中重度の方や、認知症の方を受け入れる体制づくり」や「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」に心がけました。中重度加算・認知症加算を含めた健全な事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額 88,952,890 円（前年度比+6,612,852 円）となりました。

### （１）訪問介護（ホームヘルプ）事業

担当：ホームヘルプセンター

介護保険における要支援者や要介護者宅に訪問介護員（ヘルパー）が訪問し、入浴・排泄・食事などの介助や日常生活上の支援を行い、年間利用者人数は 652 名（前年度比+64 名）となりました。

### （２）通所介護（デイサービス）事業

担当：デイサービスセンター

介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、保育園児や子育て支援センターとの交流、調理やクラフト、グループ体操等サービス内容の充実に努め、1 日平均 20 名の方に利用していただきました。また、サービスの向上に努めるため、第三者機関による京都介護・福祉サービス第三者評価を受診しました。評価結果については、京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構から公表されていま

す。

### (3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

担当：老人介護支援センター

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行ないました。担当件数は年間 908 件（前年度比+86 件）でした。

## 7. 障害者自立支援給付事業

障害  
福祉

補助  
委託

担当：ホームヘルプセンター

《ホームヘルプ事業》

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、訪問介護員（ヘルパー）が入浴・排泄・食事などの支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサービスの提供に努めました。その結果、年間利用者数は 354 名（前年度比△7 名）となりました。

## 8. 子育て支援事業

補助  
委託

担当：子育て支援センター

ア. 子育て支援事業

（ひろば事業、つどい事業、相談事業（おひさま）、妊婦来館推進事業、情報提供事業  
子育てサークル・サロン支援、チャイルドシート貸出事業）

子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業（1 日平均 85 名利用）、つどい事業（年間 79 回開催）、相談事業（「おひさま」：年間 527 件〔前年度比+58 件〕の相談に対応）の各種事業や情報提供を行いました。全体的なひろばの傾向として、子どもを連れたお父さんたちの利用が土日を中心に増えました。相談事業については、利用者支援事業として専門員によるきめ細かな対応ができました。また、地域における子育て支援として、つどい事業の一環である『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員をはじめ地域の方々のご協力を得て 4 箇所で開催し、各地域の高齢者の方々や小学生と交流する機会も増える中、地域に根付いた事業として定着しています。今年度は延べ 9 回の開催で、参加者は 267 名（前年度比△60 名）でした。

今年度も妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し

行いました。妊婦さんにプレゼントするおもちゃ（にぎにぎ）の製作には引き続き地域の方にご協力をいただいています。妊婦登録者は第2子、3子を出産する方の割合が多い傾向にあります。今年度の登録者は71名（前年比△9名）となっています。

これらの子育て支援事業の他に情報誌「かめおかっこひろば おたより」、フェイスブックなどを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム開館日数は延べ302日で、来館者数は延べ25,808名（前年度比+612名）となりました。

#### イ. ファミリー・サポート・センター事業

担当：ファミリー・サポート・センター

学童保育時における迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間1,013件（前年度比△747件）の支援活動を行いました。

また、まかせて会員講習会も年8回開催し、子どもの発達や人権、子どもの安全や身近な事故の応急手当等について研修を行ったところ、延べ195名（前年度比+33名）の会員が参加し、日常の活動に役立てていただきました。

## 9. 市民福祉のつどい

亀岡  
社協

補助  
委託

絆づくり

担当：市民福祉つどい実行委員会

平成30年10月21日、ガレリアかめおかとふれあいプラザにおいて「つながり合おう地域の輪 かめおかの輪」をテーマに、『第31回市民福祉のつどい』を当つどい実行委員会の主催により、「ふれあいフェスティバル2018」（第37回亀岡市障害者福祉大会）、「健康いきいきフェスティバル2018」と合同で開催しました。

当日は約3,000名の世代を超えた人々が来場されました。会場では福祉に関する相談会や災害ボランティアセンターコーナー、デイ部会合同作品展、アトラクション等多彩な催しにより交流を図りました。

なお、チャリティーバザー・模擬店の売り上げの一部を共同募金会へ寄付しました。

## 10. 共同募金事業

赤い  
羽根

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係（募金事務・募金依頼・募金付き自販機）  
担当：地域福祉係（助成・イベント募金・募金百貨店）

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の方にご協力いただいています。

より多くの市民の方にご理解とご協力いただき募金強化を図るため、イベント募金活動、赤い羽根共同募金機能付き自動販売機の設置、募金百貨店プロジェクト（寄付つき商品）の推進を積極的に行いました。

市民の方々にご協力いただいた募金やイベント募金、自動販売機、寄付つき商品を通じての募金については、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を審査委員会で審査、企画調整部会で承認後、97 団体、合計 4,940,155 円の配分金を助成しました。

## 11. 歳末たすけあい運動

歳末  
募金

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、平成 30 年 12 月 1 日から 1 ヶ月間、亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。運動期間中の 12 月 1 日(土)には、各団体の協力により市内 15 箇所で街頭募金を行い、また、各自治会の協力による地域募金なども合わせ、総額 7,597,242 円の歳末募金を集めることができました。

歳末募金の使途につきましては企画調整部会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計 925 件、4,625,000 円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設 19 箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者やひとり親家庭の方などを対象とする地域での援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計 2,298,000 円を助成しました。

# 平成30年度 諸 事 業 の 詳 細

## 1. 法人運営

### (1) 会議の開催状況

#### ア. 理事会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 5月17日(木)	ふれあい プ ラ ザ	13名 (監事 3名を 含む)	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度社会福祉事業決算について 3. 平成29年度公益事業決算について 4. 評議員の同意について
第2回 平成30年 6月15日(金)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	15名 (監事 3名を 含む)	1. 副会長の選任について
第3回 平成31年 3月19日(火)	ふれあい プ ラ ザ	10名 (監事 1名を 含む)	1. 平成30年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成31年度事業計画について 3. 平成31年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 平成31年公益事業資金収支予算について

#### イ. 評議員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 5月31日(木)	ふれあい プ ラ ザ	20名 (監事 2名を 含む)	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度社会福祉事業決算について 3. 平成29年度公益事業決算について 4. 理事の選任について
第2回 平成30年 3月19日(火)	ふれあい プ ラ ザ	18名 (監事 3名を 含む)	1. 平成30年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成31年度事業計画について 3. 平成31年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 平成31年度公益事業資金収支予算について

ウ. 部会・委員会

◎企画調整部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 7月2日(月)	ふれあい プ ラ ザ	7名	1. 部会長・副部会長の選出について 2. 平成30年度共同募金配分金助成事業の助成団体審査・決定について 3. 平成30年度社会福祉協議会会員（会費）の募集について
第2回 平成30年 9月28日(金)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	9名	1. 平成30年度歳末たすけあい運動について
第3回 平成31年 3月8日(金)	ふれあい プ ラ ザ	7名	1. 平成30年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 平成31年度共同募金配分金助成事業について

◎ボランティア福祉部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 8月10日(金)	ふれあい プ ラ ザ	8名	1. 亀岡市ボランティア基金運営要領の改訂 2. 平成29年度亀岡市ボランティア基金助成金の報告について 3. 平成30年度亀岡市ボランティア基金助成金の交付決定について

◎共同募金配分金助成事業 審査・検討委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 6月25日(月)	ふれあい プ ラ ザ	6名	1. 委員長および副委員長の選出について 2. 平成30年度共同募金配分金助成金申請概要、審査の方法説明 3. 審査

◎評議員選任・解任委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成30年 5月22日(火)	ふれあい プ ラ ザ	6名	1. 評議員候補者の推薦について

## エ. 監査

年 月 日	場 所	出席者	案 件
平成 30 年 5 月 10 日(木)	ふれあい プ ラ ザ	4 名 〔会長含む〕	1. 平成29年度社会福祉事業及び公益事業決算の監査

## オ. 正副会長会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第 1 回 平成 30 年 5 月 14 日(月)	ふれあい プラザ	3 名	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度社会福祉事業及び公益事業決算について 3. 理事の選任について 4. 評議員の選任について
第 2 回 平成 30 年 10 月 5 日(金)	ふれあい プ ラ ザ	3 名	1. 平成30年度亀岡市社協会長表彰について
第 3 回 平成 30 年 3 月 8 日(金)	ふれあい プ ラ ザ	3 名	1. 平成 30 年度社会福祉事業補正予算について 2. 平成 31 年度事業計画について 3. 平成 31 年度社会福祉事業当初予算について 4. 平成 31 年度公益事業当初予算について 5. 規定の一部改正について

## (2) 社協組織の強化

### ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
平成28年度	15,817	9,953,650
平成29年度	15,368	9,770,510
平成30年度	14,883	9,583,900

### 【会費区分別内訳】

	町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額	29年度	
		D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額
一般 会費・ 賛助 会費	亀岡東部地区	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 196	人 1,124	人 1	人 1,321	円 758,300	人 1,524	円 762,000
	亀岡中部地区	0	0	2	3	0	21	1,067	1	1,094	573,850	1,175	582,210
	亀岡西部地区	0	0	0	0	0	1	786	1	788	394,150	877	438,300
	東別院町	0	0	0	0	0	147	269	0	416	281,500	387	284,000
	西別院町	0	0	0	0	0	0	197	0	197	98,500	206	103,000
	曾我部町	0	0	0	0	0	8	797	0	805	406,500	808	407,500
	吉川町	0	0	0	0	0	1	139	34	174	80,700	180	83,700
	蕨田野町	0	0	0	0	0	12	645	1	658	334,700	674	377,000
	本梅町	0	0	0	0	0	15	402	0	417	216,000	405	208,200
	畑野町	0	0	0	0	0	4	157	2	163	82,700	220	96,200
	宮前町	0	0	1	0	0	200	226	0	427	318,000	438	360,000
	東本梅町	0	0	0	0	0	0	179	0	179	89,500	183	91,500
	大井町	0	0	0	0	0	6	1,516	2	1,524	764,800	1,572	766,700
	千代川町	0	0	0	0	0	14	1,367	10	1,391	699,500	1,392	691,000
	馬路町	0	1	0	0	1	311	73	0	386	359,500	373	350,500
	旭町	0	0	0	0	0	77	138	0	215	146,000	208	126,500
	千歳町	0	0	0	0	1	260	71	0	332	297,500	325	276,500
	河原林町	0	0	0	0	0	17	219	0	236	126,500	239	138,500
	保津町	0	0	0	0	1	248	239	0	488	369,500	498	421,000
	篠町	0	1	1	0	1	75	1,731	230	2,039	991,800	2,080	1,038,550
	東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	46	269	1	316	180,600	328	189,500
	西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	117	473	0	590	353,500	574	320,000
	南つつじヶ丘	0	0	0	0	0	32	313	71	416	203,300	394	192,150
	小 計	0	2	4	3	4	1,808	12,397	354	14,572	8,126,900	15,060	8,304,510
	その他	1	29	46	43	91	41	32	0	283	908,000	280	914,000
	合 計	1	31	50	46	95	1,849	12,429	354	14,855	9,034,900	15,340	9,218,510
施設 会費	社会福祉施設									13	363,000	13	360,000
	保育所・園									15	186,000	15	192,000
	合 計									28	549,000	28	552,000
会費合計										14,883	9,583,900	15,368	9,770,510

※ 施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分（366,000 円）を含む。



イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付・指定寄付

（単位：円）

町 名	寄 付 者 名	金 額	付 記
東つつじヶ丘	ご家族が亡き畑中克彦様の供養として	100,000	地域福祉事業
曾我部町	亀岡山野草を守る会	5,000	々
大井町	株式会社カーショップナカイ	20,350	々
南丹市八木町	株式会社親愛 代表取締役 安達卓志	50,000	々
宮前町	人見 徳康	20,000	高齢者支援事業
下矢田町	「下矢田町北地区自治会サマーフェスティバル2018」 開催 善意の募金箱を寄付	12,123	地域福祉事業
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘青少年育成協議会	5,000	々
追分町	イマイグループ安全衛生協力会 縁乃会	183,000	々
大井町	株式会社三煌産業 安全協力会	336,000	々
下矢田町	どんどん会 代表 田村 敏	55,500	々
穂田野町	白井 伸	100,000	障がい児者支援事業
河原林町	中川 久俊	50,000	々
大井町	大井町ゴルフ協会 会長 仲井資具	50,000	地域福祉事業
荒塚町	株式会社親愛 代表取締役社長 安達卓志	50,000	々
古世町	満林 啓美	1,700,000	福祉車輛購入寄付
篠町	住垣 萬治	100,000	地域福祉事業
篠町	磯 要三	19,000	々
河原林町	河原林町自治会	3,000	々
匿名 10件		118,815	子育て支援事業 高齢者支援事業 地域福祉事業 障がい児者支援事業
亀岡ＪＣじゃがいもクラブ		50,000	青葉学園へ指定寄付
亀岡ライオンズクラブ		320,000	デジタルサイネージ 用テレビ・パソコン
ふくかめ（寄付つき）自動販売機		132,807	年間7台分
合 計	31件	3,480,595	

## ○物品指定寄付

寄 付 者 名		内 容	付 記
山浦 勝美		歯みがきセット・ひげそり・シャンプーセット	被災地へ
亀岡農家組合		新米 30 kg×10 袋	青葉学園へ
匿名 3件		お米 30 kg 野菜	々
		毛布 1 枚	関西盲導犬協会へ
合 計		5件	

## ○物品寄付

町 名	寄 付 者 氏 名	寄 付 物 品
追分町	有限会社 ASC	プルタブ 0.3 kg ・ エコキャップ 1.6 kg 使用済プリペイドカード 600 枚以上
南つつじヶ丘	特定非営利活動法人諸星塾 六信 みどり	プルタブ 4 kg ・ エコキャップ 9.6 kg
穂田野町	社会福祉法人 青葉学園	エコキャップ 7.5 kg
篠町	浪川 博美	プルタブ 2 kg
吉川町	亀岡市立吉川小学校	プルタブ 10.77 kg
下矢田町	野々村タイル	プルタブ 1 kg ・ エコキャップ 2.6 kg
曾我部町	亀岡市立中部保育所（保護者会）	プルタブ 4.8 kg ・ エコキャップ 43.66 kg
穂田野町	斉藤 浅夫	エコキャップ 62.5 kg
篠町	ナルク亀岡	プルタブ 20.9 kg ・ エコキャップ 57.5 kg
曾我部町	竹井 寛	プルタブ 1.6 kg ・ エコキャップ 8.9 kg
本梅町	森 久和	プルタブ 1.2 kg
上矢田町	長澤 直美	車いす 1 台
宮前町	森 和子	プルタブ 0.6 kg ・ エコキャップ 2.4 kg ・ 古切手ベルマーク
曾我部町	岩崎 真由美	プルタブ 6.7 kg ・ エコキャップ 8.3 kg
東別院町	見立区自治会	エコキャップ 37.2 kg
篠町	古江 要	布 8 袋
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 3.4 kg ・ エコキャップ 17.3 kg
余部町	国際ソロプチミスト亀岡	プルタブ 1.1 kg ・ エコキャップ 9.1 kg 古切手 0.4 kg
横町	亀岡高校生徒会美化委員会	エコキャップ 25.6 kg

町 名	寄 付 者 氏 名	寄 付 物 品
篠町	支援センター 圭	プルタブ 0.4 kg ・ ベルマーク
馬路町	馬路町自治会	プルタブ 3 kg
追分町	南桑土木建設株式会社	エコキャップ 4.9 kg
篠町	藪 琉敏	プルタブ 1.2 kg
西町	藤本 新一	プルタブ 3 kg ・ エコキャップ 16 kg
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 11.3 kg ・ エコキャップ 18.1 kg
京都市上京区	高松 朗良	プルタブ 3 kg
篠町	亀岡市立詳徳小学校	プルタブ 1.1 kg ・ エコキャップ 163.3 kg
曾我部町	土谷 末野	プルタブ 2.1 kg ・ エコキャップ 1.5 kg
曾我部町	木内 マツエ	プルタブ 1.1 kg ・ エコキャップ 1.6 kg
曾我部町	石田 茂雄	プルタブ 600 g ・ エコキャップ 3.8 kg
南丹市園部町	福田 康夫	プルタブ 4.3 kg
荒塚町	明治安田生命 亀岡営業所	タオル 108 枚
大井町	亀岡市立幼稚園 PTA	プルタブ 8.736 kg ・ エコキャップ 0.3 kg
余部町	川勝 丑三	プルタブ 1.8 kg ・ エコキャップ 1.8 kg
篠町	亀岡電子株式会社	エコキャップ 10 kg
東つつじヶ丘	ほっこりサロンつつじヶ丘	プルタブ 12.8 kg
向日市森本町	山下 芳郎	プルタブ 6.5 kg
京丹波町	グランド・ゴルフ愛好者	プルタブ 2 kg ・ エコキャップ 47 kg
古世町	林 侑香	プルタブ 0.5 kg ・ エコキャップ 2.6 kg ベルマーク ・ 古切手
西つつじヶ丘	和久田 己善	エコキャップ 23.5 kg
下矢田町	村上 悟司	プルタブ 1.5 kg
余部町	柴田 泰男	プルタブ 500g ・ エコキャップ 7 kg
	郵便局長夫人会亀岡部会	雑巾 130 枚
千代川町	メディアス亀岡3番館管理組合	プルタブ 18.4 kg ・ エコキャップ 2.7 kg
曾我部町	NPO法人 青空ふれあい農園ハーブ倶楽部	プルタブ 200g ・ エコキャップ 11 kg
篠町	大村 敏	手作りのコマ
南丹市園部町	府営向河原団地 ふれあい会	プルタブ 8 kg ・ エコキャップ 22.9 kg
南丹市園部町	府営住宅向河原団地自治会	エコキャップ 24.2 kg
曾我部町	藤村種苗園従業員有志一同・法貴 茂博	プルタブ 1.0 kg ・ エコキャップ 2.9 kg
旭町	三宅 未来、徠輝、來良	エコキャップ 3.3 kg
曾我部町	夫婦池団地各人	プルタブ 22 kg
千代川町	俣野 治城	エコキャップ 2.7 kg
安町	カトリック丹波教会	プルタブ 1.4 kg ・ エコキャップ 9.4 kg ・ 古切手 ・ 使用済プリペイドカード
千代川町	小松寺	エコキャップ 11.4 kg
千歳町	森川 久男	プルタブ 13 kg ・ エコキャップ 600g
千代川町	八木 樹男	プルタブ 2.9 kg
東別院町	加賀山 千代	プルタブ 1.5 kg ・ エコキャップ 1.0 kg

町 名	寄 付 者 氏 名	寄 付 物 品
南丹市園部町	グループホーム 180 番地 黒 伸哉（世話人）	プルタブ 9.5 kg ・ エコキャップ 9.2 kg
千代川町	堤 典子	エコキャップ 2.6 kg
畑野町	今西 多津子	プルタブ 600g ・ エコキャップ 25 kg
宮前町	（株）イーエル・オカモト	エコキャップ 10.1 kg
古世町	野中 加代子	プルタブ 1.5 kg
余部町	亀岡市立城西小学校	プルタブ 24 kg
安町	亀岡市さわやか教室	プルタブ 10,700g ・ エコキャップ 2,400g 使用済みカード 86 枚 ・ 未使用はがき 1 枚 古切手 624g
西つつじヶ丘	亀岡市立つつじヶ丘小学校	エコキャップ 96.4 kg
曾我部町	洋裁サークル ピンクッション	プルタブ 1.5 kg ・ エコキャップ 4 kg
	郵政退職者近畿共助会 京都北支部 亀岡班	プルタブ 7.1 kg ・ エコキャップ 3 kg 使用済切手 100g
安町	京都南丹モラロジー	プルタブ 230g ・ エコキャップ 600g 古切手 1 kg ・ 使用済みカード 25 枚
蒔田野町	一般社団法人 亀岡青年会議所	プルタブ 4.4 kg ・ 古切手 ・ 書損じはがき
南つつじヶ丘	亀岡市立南つつじヶ丘小学校	プルタブ 9.5 kg ・ エコキャップ 43.5 kg
千代川町	亀岡市立千代川小学校	エコキャップ 62 kg
蒔田野町	亀岡市立蒔田野小学校	プルタブ 10 kg ・ エコキャップ 10.5 kg
千代川町	ランニングクラブチーム ピーマン	プルタブ 1.2 kg
	世界平和統一家庭連合 亀岡家庭文 化センター	プルタブ 200g ・ エコキャップ 4.5 kg ・ 古 切手
千代川町	人見 靖泰	プルタブ 10.5 kg
船井郡京丹波 町	丹波桜梅園	プルタブ 2.5 kg ・ エコキャップ 4,400 個
匿名 6 件		プルタブ 173.2 kg ・ エコキャップ 2.6 kg 空気清浄機 3 台 ・ 電動ベッド（3 モーター） 1 台
合 計		82 件

- ・ 切手、プリペイドカードは、知的障がい者を支援するため取扱機関へ送付しました。
- ・ 空き缶のプルタブは車椅子交換のため、また、エコキャップはポリオワクチン代として寄付するため、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

#### ○『ふくかめ自動販売機』（寄付つき自動販売機）の設置推進事業

亀岡市の地域福祉を充実させるために、企業・自治会・地域の皆様が所有される建物や土地のスペースに自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

☆平成30年度 設置目標3台 ⇒ 3台設置

【各自動販売機 寄付金実績】

(単位：円)

自動販売機設置場所 : 協力者	年間寄付金	備考 (設置期間)
吉川町公民館 (敷地内) : 吉川共栄報徳会	5, 4 4 7	H29 年 9 月 29 日設置
馬路町生涯学習センター : 馬路町自治会	5, 0 5 1	H29 年 9 月 29 日設置
ふれあいプラザ前 : 亀岡市社協	7 5, 6 6 3	H29 年 9 月 29 日設置
東つつじヶ丘ふれあいセンター : 東つつじヶ丘自治会	1 4, 2 7 2	H29 年 12 月 12 日設置
京都スタジアム新築工事現場 (2 台) : ㈱竹中工務店	2 9, 2 3 2	H30 年 5 月 15 日設置 (10 ヶ月)
保津町自治会 (敷地内) : 保津町自治会	3, 1 4 2	H30 年 9 月 19 日設置 (6 ヶ月)
合 計	1 3 2, 8 0 7	

自動販売機設置協力事業所 : ㈱伊藤園

平成 3 0 年度に『ふくかめ自動販売機』を通した上記寄付金から、住民の皆さまに活用いた  
だいております貸出用車イスとして子ども用車イス 1 台、介助式車イス 1 台を購入しました。

(3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年 5 回 3 2, 1 0 0 部/1 回

配布方法 自治会を通じての全戸配布及び市内関係機関へ配布

イ. ホームページ・フェイスブック

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体として活動内容や各種情報を掲載しまし  
た。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議 <http://www.fukukame-net.or.jp/>

(4) 名義後援

当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行  
いました。

事 業 名	名義後援 件数
地域福祉事業	4 件
高齢者福祉事業	1 2 件
障害福祉事業	4 件
子育て支援事業	3 件
その他	0 件
合 計	2 3 件

(5) 人材育成の取組

職員の資質向上と福祉を目指し支える人材の育成を目的とした取組みを行いました。

ア. 「きょうと福祉人材育成認証制度」を宣言し、認証へ向けた取組み

年 月 日	項 目	対応	内 容
平成 30 年 8 月 24 日 (金)	京都府福祉職場 組織活性化プログラム 職員アンケートセミナー参加	総務課 1 名	職員アンケートで職員の職場や仕事に対する思いを見える化し、組織活性化に繋げていくプログラムについて、その効果と活用方法を学んだ。
平成 30 年 9 月 25 日 (火)	「きょうと福祉人材育成認証制度」申請	総務課	認証条件の下記事項を構築 ・新規採用者が安心できる育成体制 ・若者が未来を託せるキャリアパス ・働きがいと働きやすさが両立する職場づくり ・社会貢献とコンプライアンス
平成 30 年 11 月 28 日 (水)	「きょうと福祉人材育成認証制度」審査  京都府より 1 名、福祉人材サポートセンターより 1 名	局長 総務課長 職員 1 名	【審査シート】に基づきヒアリング書類等の確認
平成 31 年 2 月 21 日 (木)	「きょうと福祉人材育成認証制度」認証 認証式出席 『京都ガーデンパレス』	会長 常務 総務課長	認証の審査結果を受ける 認証日：平成 31 年 3 月 1 日  (京都知事より認証)

イ. 社会福祉援助技術現場実習生受入れ

【趣旨】

当協議会では「福祉人材の育成」を大切な役割の一つと考え、その一環として社会福祉士受験資格取得に必要である「社会福祉援助技術現場実習」を積極的に受け入れています。

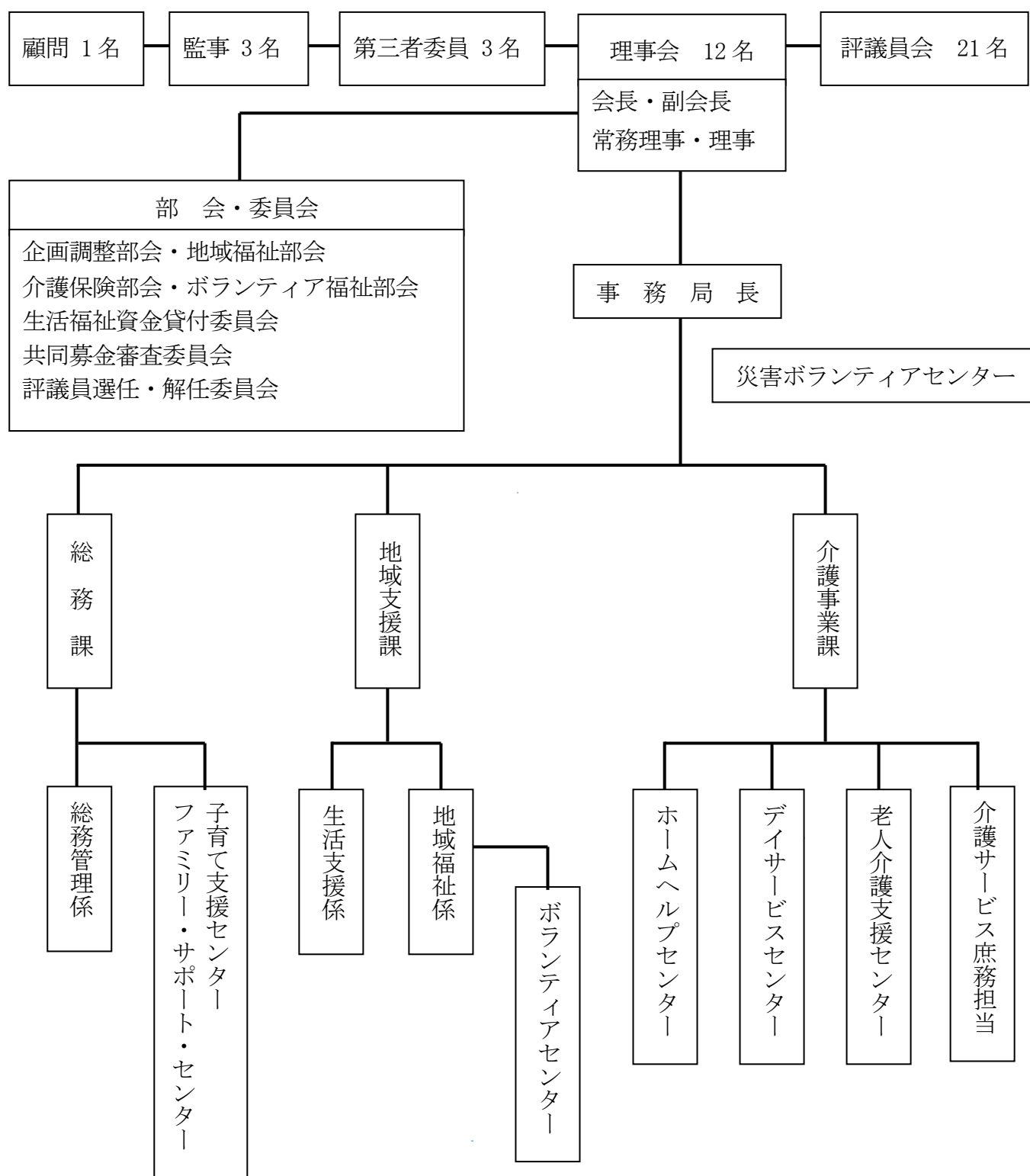
【実績】

年 度	受入れ人数	依頼元大学
平成 28 年度	2 名	花園大学、京都ノートルダム女子大学
平成 29 年度	2 名	花園大学、佛教大学
平成 30 年度	1 名	花園大学

(6) 組織図 (平成30年度：平成31年3月31日現在)

計 78 名 (正職員 23 名 嘱託職員 7 名 非常勤職員 3 名

登録ヘルパー14名 生活支援員 16 名 臨時職員 15 名)



## (7) 事務局体制の強化と役職員の資質向上

年間を通して、職員対象の人権研修、コンプライアンス研修、衛生管理研修、また各係・センター毎ごとのスキルアップ研修等を積極的に実施いたしました。

外部研修においては、特に亀岡市開催の研修・京都府社協及び京都府福祉人材研修センター開催の各種研修等に職員の資質向上を目的に、積極的に参加をしました。

## 2. 地域福祉推進事業

### (1) くらしのサポートサービス事業

#### 【事業趣旨】

くらしのサポートサービスは、日常生活を営むのに支障があり、何らかの理由で他の福祉サービスの利用等が困難な世帯に対し、市民の参加と協力により、非営利のボランティアな活動を基盤とした住民相互の助け合いによる福祉サービスを供給することにより、在宅福祉の充実と市民の福祉活動への積極的参加を促進することを目的とする事業です。

#### 【支援内容】

##### ○家事援助

- ・掃除
- ・洗濯
- ・買物
- ・調理
- ・浴室掃除
- ・書類整理
- ・窓ふき
- ・入院中の病院での洗濯や買物

##### ○見守り

- ・お話し相手、一緒に留守番

##### ○付き添い

- ・病院、役所、買物等のお出かけ時の付き添い

#### 【活動実績】

##### ○ 会員数

協力会員（実数） 35名（内、新規会員 5名）

利用会員（実数） 72名（       "       25名）

##### ○利用状況実数

- ・外出同行：受診の同行5件    買い物の同行5件
  - ・家事援助：掃除59件   洗濯7件   買い物19件   調理9件   その他25件
- ※「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。
- ※ その他…話し相手、入浴見守り、草刈り等の軽作業、他。



○年度別活動実績

年 度	利用会員数（月平均）	協力会員数（月平均）	活動回数
平成28年度	33.2人	21.9人	1,727回
平成29年度	28.4人	16.9人	1,280回
平成30年度	35.9人	20.0人	1,357回

○協力会員研修・交流会

・実 施 日 ：平成31年3月6日（水）

・内 容 ：

①研修 「平成30年度の取り組みと活動状況について」

\* 平成29年度の研修交流会では、日常生活に困りごとを抱えながらも本事業につながっていない方への広報、協力会員不足に関する事など、参加者の皆様から多数の意見をいただきました。それらの意見を受け、平成30年度に実施した取り組み及び活動状況について報告を行いました。

②交流会 「今困っていること、サービスを提供するときに困ったこと」

\* テーマをもとに参加者同士で感じていることを共有し、情報交換する場としました。

・会 場 ：ふれあいプラザ 世代間交流室

・受 講 者 ：7名

(2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

高齢者介護予防拠点事業は、運動・口腔などに係る介護予防に重点を置いた取り組みを行なっています。今年度の新たな取り組みとして、身体と指先を動かす事に力を入れており、腹筋を使いながら大きな声で歌を歌うなど、運動機能向上や脳トレ・脳スケ（スケルトン）を行なっています。高齢者の生きがいとして、集中力を高める事が出来る書道に取り組み、健康づくりと日常動作訓練や趣味活動、レクリエーションなどの機会を提供しています。

【実施場所】

○曾我部いこいの家

毎週水曜日（年末年始・祝日を除く）

午前10時から午後3時まで

【実施内容】

健康チェック、体操、脳トレ、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家	
	活動回数 (回)	延利用 人 数 (人)
平成28年度	48	454
平成29年度	47	417
平成30年度	50	359

※協力会員の登録は4名 一日の担当は3名

### 【事業成果】

定期的に通われ、運動や趣味活動に取り組まれていること、また来所されている皆さんとお話しを、関わりを持っていただくことで、介護予防の効果が表れています。平成13年度のスタートから継続して参加されている利用者も多く、毎週参加を楽しみにしていただけてます。介護予防を目的としているこの事業の成果が表れています。

### (3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

#### 【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

#### 【支援の内容】

##### ○福祉サービス利用の支援

- ・福祉サービスについての情報提供
- ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
- ・福祉サービス利用料の支払い等

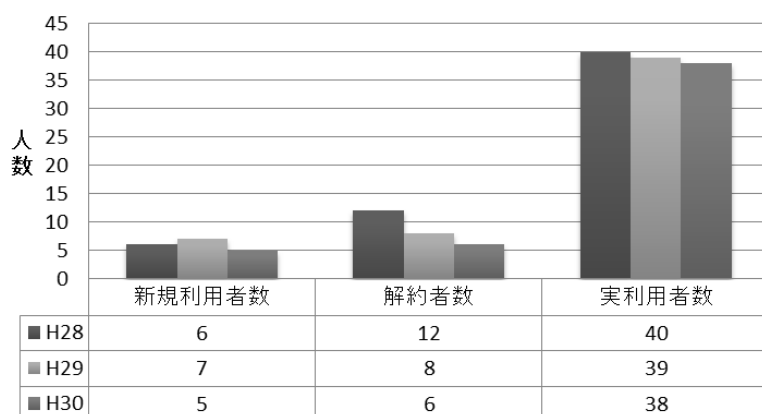
##### ○日常的な金銭管理の支援

- ・年金や福祉手当などの受領手続き
- ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い
- ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
- ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
- ・その他、書類等の預かり

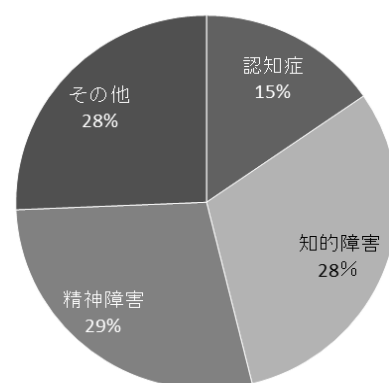
#### 【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用者数 (人)	活動回数 (回)	
平成28年度	18	3	40	1,147	23
平成29年度	17	2	39	1,111	32
平成30年度	16	2	38	1,170	30

新規・解約・実利用者数 推移



実利用者障がい別内訳



### 【事業成果】

近年、課題を重層的に抱える方（世帯）からの申し込みが増加していることにより、平成30年度は慎重に利用者との契約を進めました。それにより新規契約数は減少しましたが、支援全体では多角的な側面から対応することができました。例えば、子どもを育てるある利用者の支援では、利用者は、子どもの進学希望を叶えたいとの思いと入学金の準備が困難な家計状況との間で葛藤を抱えておられましたが、利用者の思いに添える方法を検討し、当社協生活福祉資金貸付事業担当者と連携しながら教育支援資金を利用することで子どもの進学を実現することができました。また、利用者が地域との繋がりを再構築できるよう関係機関と連携を図り、利用者が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

## （４）生活福祉資金貸付事業

### 【事業趣旨】

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施しました。

### 【資金種類別内容及び実績】

#### ① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的とした貸付金ですが、今年度は相談までの対応で自立を促すことができ、結果貸付決定には至りませんでした。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)	送金額 (円)
生活支援費	0	0	0
住宅入居費	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0
合 計	0	0	0

#### ② 福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)	送金額 (円)
福祉費	6	4, 0 2 9, 0 0 0	4, 3 4 1, 0 0 0
緊急小口資金	2	2 0 0, 0 0 0	1 0 0, 0 0 0
合 計	8	4, 2 2 9, 0 0 0	4, 4 4 1, 0 0 0

### ③ 教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)	送金額 (円)
教育支援費	2 0	8, 5 6 4, 0 0 0	7, 3 6 8, 0 0 0
就学支度費	1 8	6, 3 7 3, 0 0 0	5, 8 9 0, 0 0 0
合 計	3 8	1 4, 9 3 7, 0 0 0	1 3, 2 5 8, 0 0 0

### 【事業成果】

貸付希望者から相談があった際、地区担当の民生委員と連携をとり、困窮世帯が継続して住み慣れた地域で生活できるよう貸付希望者了承のもと情報共有を行いました。

また、地域福祉権利擁護事業契約世帯の子どもの進学に際し、本資金貸付にて対応。地域福祉権利擁護事業担当者・行政担当部署と連携のうえ、貸付だけで終わらず進路相談も行うなど、スムーズに進学できるよう支援を行いました。

## (5) 福祉金庫資金貸付事業

### 【事業趣旨】

亀岡市民であって、自立更生の意欲のある世帯及び、特に必要と認める要援護世帯などに資金を貸付け、その生活の安定と自立更生に役立たせ、社会福祉の増進を図ることを目的とし、不時の出費などによって、最低生活を脅かされる恐れのある世帯、要援護世帯など、他からその必要な資金を得ることが困難な方に対して貸付を実施しました。

### 【貸付および償還実績】

平成30年度貸付分		平成30年度貸付分償還額	
貸付件数	2件	償還金額	12,000円
貸付金額	40,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1年以内

※ 利 息： 無利子

### 【事業成果】

今年度は貸付件数・金額とも前年度比大幅減となりました。相談があった際には状況をしっかりと聞き取ったうえで本資金貸付が必要と判断した世帯については、柔軟・迅速に貸付対応をしました。

また、滞納者に対し電話等にて償還を促すとともに、滞納世帯の現状に応じて償還方法の変更の提案等を実施し、償還に繋げる努力をしました。

## (6) 亀岡市生活支援体制整備事業

「介護予防・日常生活支援総合事業」の整備実施にあたり、亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、亀岡市と連携を取りながら、第1層協議体の事務局を運営し、生活支援コーディネーターと共に ①地域資源ニーズの把握 ②地域資源の開発 ③ネットワークの構築 ④ニーズと取組みのマッチングを行い、また、亀岡市第2層協議体設置に向けた体制整備を行うことで、2025年までに亀岡市における地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

本年度は、平成29年度末亀岡市に設置された、第1層協議体事務局の運営を基本としながら、生活支援コーディネーターへ全面的な支援を行い

- ① 生活支援コーディネーターとの連携と協働
- ② 第1層協議体運営と第2層協議体設置に向けての活動
- ③ 亀岡市他関係機関との連携・協議
- ④ 亀岡市「京都式介護予防プログラム普及促進事業」の取り組み

に取り組んできました。

とりわけ、住民主体のまちづくり（共生のまちづくり）を考える学習会においては、平成28年6月開催の「共生のまちづくりフォーラム」と平成29年度2月開催の「第2回まちづくりフォーラム」を経て、声を上げてくださったまちづくりに関心のある方々約20名の参加をいただき、本年度も住民主体となる自主的な学習会を社会福祉協議会としても事務局として支援してきました。

また、地域資源・ニーズを把握、開発し、ネットワークでつなぎ取組みをマッチングしていく生活支援コーディネーターの役割については、平成29年度社会福祉協議会の職員3名が担っていたところですが、まちづくりをする中間NPOとして市とも連携して活動している「かめおか市民活動推進センター」から3名を推薦していただき本格配置となりました。社会福祉協議会として、地域での集いの場に参加するにあたっての日程調整や準備、当日対応など地域に溶け込むためのサポートについて全面的に行いました。

### ①生活支援コーディネーターとの連携と協働

3名の生活支援コーディネーターが本格配置され、地域への活動推進や他機関との連携等の活動日程を調整する中で1名が辞退され、2名配置での活動となりました。仕事を持ちながら生活支援コーディネーター業務であるため社会福祉協議会としても地域での活動参加やニーズ、資源把握等についても全面的にバックアップを行い、ともに取り組みを進めてきました。

地域での事業推進として自治会役員や地域サロン団体への説明やニーズの聞き取りをする中でネットワークの構築に努めました。平成29年度からモデル地域で進めていた「集まりの場」「居場所」の創出については、やらされ感のない「亀岡流」のまちづくりを念頭に住民に寄り添いながら行ってきました。その経過としては、地域の実情により居場所につながらないところや茶話会で出た意見が新たな集まりの場につながったケースもありました。

◎地域訪問

圏域	町 名	名 称	訪問日時	場 所	参加者	事務局
亀岡地区	京 町	京町ほのぼのサロン	平成 30 年 4 月 14 日 (土) 10:00～12:00	京町会議所	13 名	2 名
			6 月 9 日 (土) 10:00～12:00		16 名	2 名
	三宅町	三宅地域クラブ	6 月 13 日 (水) 13:30～15:30	三宅町住民センター	14 名	2 名
	下矢田町	健康いきいきサロン	6 月 19 日 (火) 13:30～15:00	下矢田町コミュニティセンター	31 名	1 名
		楽遊会	9 月 20 日 (木) 13:30～16:30	あさひヶ丘自治会会議所	27 名	1 名
	東部地区社協	シニアカフェクラブ	8 月 21 日 (火) 13:30～15:00	三宅町住民センター	25 名	4 名
	安 町	ふれあいサロン	9 月 11 日 (火) 13:30～15:30	亀岡地区自治会館	12 名	1 名
	北河原町	ふれあいサロン	6 月 27 日 (水) 14:00～16:00	保津川団地第 1 集会所	11 名	1 名
			8 月 22 日 (水) 14:00～16:00		8 名	1 名
南部地区	東別院町	いきいきクラブ なでしこ会	平成 30 年 6 月 8 日 (金) 12:30～15:30	見立自治会館	8 名	1 名
	曾我部町	健笑会	6 月 4 日 (月) 9:00～12:00	曾我部いこいの家	13 名	1 名
中部地区	吉川町	ふれあいサロン	平成 30 年 6 月 16 日 (土) 10:00～12:00	府営住宅集会所	10 名	1 名
	大井町	桜ヶ丘自治会館 無料開放	5 月 17 日 (木) 13:00～16:00	桜ヶ丘自治会館	23 名	3 名
			10 月 11 日 (木) 13:00～16:00		12 名	2 名
			平成 31 年 3 月 14 日 (木) 13:00～16:00		自治会員 (作品展)	1 名

圏域	町 名	名 称	訪問日時	場 所	参加者	事務局
西部 地区	本梅町	本梅町地区社協総会	平成 30 年 6 月 28 日 (木) 20:00～21:00	本梅町自治会館	20 名	2 名
		ほんめふれあいサロ ン	8 月 28 日 (火) 13:30～15:30		16 名	1 名
	畑野町	サポート畑野 千ヶ畑サロン	6 月 25 日 (月) 13:00～16:00	千ヶ畑公民館	5 名	2 名
	宮前町	第 2 回茶話会協議	4 月 6 日 (金) 10:00～10:30	宮前町自治会	2 名	4 名
		第 2 回茶話会	4 月 13 日 (金) 14:00～16:00	桑山邸	8 名	10 名
		第 3 回茶話会協議	5 月 29 日 (火) 9:30～10:00	宮前町自治会	2 名	3 名
		第 3 回茶話会	5 月 31 日 (金) 10:00～15 : 45	桑山邸	4 名	6 名
		湯の花平ゆずり葉会	6 月 6 日 (水) 13:00～16:00	湯の花平集会所	15 名	2 名
		猪倉ふれあいサロン	6 月 12 日 (火) 13:30～16:00	猪倉公民館	13 名	2 名
		神前仲よし会	6 月 26 日 (火) 13:00～15:00	神前ふれあいサ ロン	13 名	2 名
		宮川ふれあいサロン	6 月 27 日 (水) 13:30～15:45	宮川区公民館	16 名	1 名
		史談会	6 月 27 日 (水) 14:00～16:00	宮川区公民館	11 名	1 名
		神前ふれあい センターまつり	11 月 4 日 (日) 9:00～15:00	神前ふれあい センター	区民	2 名
川 東 地 区	馬路町	馬路ふれあいサロン	平成 30 年 8 月 24 日 (金) 10:00～11:30	馬路生涯学習セ ンター	26 名	4 名
	旭 町	山階井戸端会議	4 月 9 日 (月) 14:00～16:00	山階区公民館	7 名	1 名
		歌声サロン「あさひ」	5 月 23 日 (水) 13:30～15:30	杉公民館	13 名	2 名
		山階区 フリーマーケット	6 月 17 日 (日) 11:00～15:00	山階区公民館	区民	3 名

圏域	町 名	名 称	訪問日時	場 所	参加者	事務局
川東地区	千歳町	国分「お話サロン」	平成 30 年 5 月 24 日 (木) 10:30～11:30	国分公民館	15 名	2 名
		江島里区 「健康講座・お話会」	平成 31 年 1 月 26 日 (土) 10:00～16:00	江島里区公民館	17 名	1 名
篠地区	篠 町	なんたん元気づくり 体操	平成 30 年 7 月 5 日 (木) 9:30～11:30	篠町自治会	30 名	2 名
	西山区	寿会なんたん元気づ くり体操	9 月 25 日 (火) 9:30～11:00	西山区自治会集 会所	14 名	1 名
	篠町見晴	歌の会「ドリーム」	7 月 13 日 (金) 13:30～15:00	第 6 見晴集会所	9 名	1 名
つつ じヶ 丘 地 区	西つつじヶ 丘	ふれあいネット	平成 30 年 8 月 17 日 (金) 9:30～11:30	西つつじヶ丘ふ れあいセンター	58 名	4 名
			9 月 26 日 (水) 9:00～16:00		120 名	1 名
	南つつじヶ 丘	歌声サロン	6 月 11 日 (月) 13:00～15:00	南つつじヶ丘 コミュニティセ ンター	103 名	1 名

本年度配置された 2 名の生活支援コーディネーターについては、SC としてまた各自の経験や知識を活かし関係機関との連携を取りながら住民主体の「まちづくり勉強会」やワークショップを進め、参加者の機運を高めることが出来ました。

## ②第 1 層協議体運営と第 2 層協議体設置に向けての活動

「亀岡流」の協議体への模索を続ける中、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体として亀岡市が設置を目指す第 1 層協議体委員会に対して勉強会メンバーから 5 名の候補者を推薦し、本年度 3 月には第 1 回の第 1 層協議体委員会を開催することができました。

昨年まで、協議体のあり方を考える学習会を重ねてきた「まちづくり勉強会」では、本年度、地域情報や課題を共有し、共通認識を持って「助け合い、支え合いのまちづくり」を進めるため、第 1 層協議体委員の 5 名及び生活支援コーディネーターを中心に、約 20 名で 5 月から月 1 回程度 11 回開催してきました。

この勉強会においては、各自が考えるまちづくりについての意見交換や実践例の見学を通して、方向性の統一を図ってきました。その取組みの中で、地域での居場所づくりをするにあたって大切なことを共通認識しました。

- ・「参加者だけでなく主催者も楽しむ」ことで「継続する」ことが可能になる。
- ・そのためには「一緒に活動する仲間づくり」と「仲間の特技を活かす」
- ・地域の枠にとらわれず「やってみたい人をつなげる」



- ・課題解決には、特性要因図の手法を導入し、手段、資金、材料、人材、管理という要素の面から考えてみる
- ・高齢者に限らず多世代が集える場所でも良い

これまで月1回行ってきた「まちづくり勉強会」は、第1層協議体の実務協議の場として、第1層協議体委員の選出や生活支援体制整備のあるべき姿の共有ができたとして3月末で一区切りとし、来年度からは、地域に出向き、地域ニーズや課題出しのファシリテーターとしての役割を担ってもらう方向で考えています。

◎まちづくり勉強会

開催日時	場 所	内 容	参加人数
平成30年 5月22日(火) 15:00～16:40	社協世代間交流室	事業説明、市プラン説明、自己紹介ワークショップ、勉強会年間日程確認 他	28名
6月19日(火) 15:00～16:30	社協世代間交流室	「地域」を考えるワークショップと意見交換 他	24名
7月26日(木) 14:00～15:45	南つつじヶ丘 自治会	実践見学(南つつじヶ丘歌声喫茶見学)	20名
7月27日(金) 15:00～16:30	社協世代間交流室	南つつじヶ丘歌声喫茶見学を受けての意見交換 「スタッフも参加者も楽しめることが重要」 他	23名
8月28日(火) 15:00～16:30	社協世代間交流室	「楽しい集いの場づくりを進めるために」「集いの場づくりが進まない理由」について特性要因図づくりのワークショップ 他	20名
9月28日(金) 15:00～16:30	社協世代間交流室	特性要因図による自己分析ワークショップ 他	15名
10月30日(火) 15:00～16:30	社協世代間交流室	地域での居場所づくり実践事例(2件)紹介と意見交換	12名
11月30日(金) 15:00～16:30	市役所別館3階会議室	個人として地域として「やりたいと思うこと」「やりたいができそうにないこと」について3グループで意見交換	16名
12月25日(火) 15:00～16:30	社協世代間交流室	前回意見交換を受けてのグループワークで特性要因図を作成	9名
平成31年 1月25日(金) 15:00～17:00	社協世代間交流室	まちづく勉強会の到達点と今後の在り方についての意見交換	12名
2月26日(火) 15:00～16:30	社協世代間交流室	第1層協議体委員会概要報告と来年度の取り組みに向けてグループワーク	10名

◎コアメンバー会議

開催日時	場 所	内 容	参加人数
平成 30 年 7 月 18 日 (水) 15:00～16:50	社協世代間交流室	今後のまちづくり勉強会について	10 名
8 月 23 日 (木) 13:00～15:15	市役所 201 会議室	後期のまちづくり勉強会の方向性について	11 名
9 月 18 日 (火) 15:00～16:40	社協世代間交流室	生活支援体制整備事業における亀岡市の進行プランについて ほか	9 名
平成 31 年 1 月 16 日 (水) 15:00～16:40	社協世代間交流室	第 1 層協議体会議にかかる議題等意見交換	9 名

◎第 1 層協議体委員会

開催日時	場 所	内 容	参加人数
平成 31 年 2 月 21 日 (木) 15:10～16:45	市役所 302・303 会議室	事業・市プラン説明、自己紹介ワークショップ、 勉強会年間日程確認 他	16 名

◎映画上映会～ワークショップ

開催日時	場 所	内 容	参加人数
平成 31 年 3 月 23 日 (土) 14:00～16:30	市役所市民ホール	映画「穏やかな革命」の上映会	69 名
3 月 27 日 (水) 13:30～16:30	ガレリアかめおか 響ホール	映画上映会を受けてのワークショップ	28 名

平成 29 年度の「とも生きのまちづくりフォーラム」以降、地域での助け合い・支え合いを進める仕組み作りのため、平成 30 年度は、地域での居場所の把握や月 1 回のまちづくり勉強会やコア会議など地域住民同士が学び・意見交換がし合える場を開催するとともに、介護予防サポーター講座修了生を地域サロンに派遣するなど、人材の発掘と育成に努めてきました。

これらの取組みのまとめとして、事業参加者や今後事業参加を期待できる人材、来年度第 2 層協議体創出を予定している地域自治会を対象に「おだやかな革命」の映画上映会を行いました。

また、その映画上映を受けて、似通った地域や近い地域ごとに分けたグループでのワークショップを行うと、グループ間でニーズや課題が分かりあえる状況が多くあり、大変盛り上がりました。まだ話し足りないという声もあり、その想いを来年度に繋げることができました。

③亀岡市他関係機関との連携・協議

事業の推進にあたっては、本年度も亀岡市高齢福祉課と連携し協議を重ねながら進めてきました。また、NPO 活動や地域づくり活動を支援されている「かめおか市民活動推進セン

ター」から選出された、生活支援コーディネーターとも連携・協議しながら事業の推進に当たれたことは大きな成果につながりました。

亀岡市高齢福祉課及び生活支援コーディネーターとの協議については、生活支援コーディネーターの役割や年度事業計画、まちづくり勉強会開催等について年間27回行いました。

#### ◎生活支援コーディネーター研修・連絡会

開催日時	場所	内 容	参加人数
平成30年 10月2日(火) 11:30～16:00	精華町 みんなの元気塾	生活支援コーディネーター養成講座	3名
12月3日(月) 13:30～16:00	南丹市社協 日吉支所	市町村北部ブロック 生活支援コーディネーター連絡会議	1名

#### ④亀岡市「京都式介護予防プログラム普及促進事業」の取組み

亀岡市、京都学園大学と連携を取りながら作成した「健康長寿かめおか”お宝”ノート”」を用い、亀岡市全域において要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化防止に自発的に取り組んでいる状態とすることを目指しています。

亀岡市においては、市域全体に京都式介護予防総合プログラムを普及するために「介護予防サポーター」の養成講座を平成23年度から30年度末まで14回実施しており、その介護予防サポーターの中から活動に興味がある、又は、自ら活動したいとアンケートに回答のあった約20名に向けて、活動できる場の提供等の支援を行いました。

亀岡市における65歳以上高齢者の介護予防をめざし、希望のあった地域サロンに紹介するとともに4回連続講座で介護予防サポーターの派遣を行うなど、参加、継続してみたいと思える仕組み作りに努めました。

#### 【主な取り組み実績】

##### ○「健康長寿かめおか”お宝”ノート」の作成・展開に向けての調整

展開については、市内NPOによる12カ所の体操教室と亀岡市社会福祉協議会で把握しているサロン等既存の活動場所への展開を併せて全域を目指すこととし、約25カ所へのサロンへの紹介訪問・打診を行いました。

導入を行うサロンにあたっては、各サロンの趣旨や内容・意向に沿うよう慎重に行いました。

##### ○サロンへの紹介訪問・打診

地域サロンでの展開については、亀岡市社会福祉協議会がサロンの運営者と介護予防サポーターとの中間支援を担い、事務局として体操冊子の作成や日程調整を行いました。導入については、「健康長寿かめおか”お宝”ノート」を用いての4回講座を体操リーダーとサポーターが役割分担をし、わかりやすく体操を紹介しながら定着に努めました。

##### ○導入サロンと対象者数

今年度末までの展開箇所は8地域+元気アップ教室12カ所（内西つつじヶ丘地区は重なっている）、対象者は約200名となり、地域サロンへの体操訪問を継続的にを行い、定着を目指した活動に関わった介護予防サポーターは12名、活動回数は74回となりました。

	地 域	サ ロ ン 名	活 動 場 所	1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目
1	千歳町	国分ふれあいサロン	国分区公民館	14 名	13 名	15 名	次年度
2	篠 町	歌の会「どりーむ」	第 6 見晴集会所	11 名	12 名	11 名	9 名
3	亀岡地区 中部	ふれあいカフェ	内丸公民館	14 名	10 名	17 名	14 名
4	西つつじヶ丘	ふれあいネット西つつじ（映画鑑賞会）	西つつじヶ丘ふれあいセンター	58 名	58 名	56 名	47 名
5	篠 町	なんたん元気づくり体操	西山区自治会集会所	15 名	11 名	10 名	11 名
6	亀岡地区 西部	安町ふれあいサロン	亀岡地区自治会	31 名	31 名	18 名	21 名
7	東つつじヶ丘	ほっこりサロンつつじヶ丘	東つつじヶ丘ふれあいセンター	20 名	18 名	26 名	16 名
8	宮前町	猪倉ふれあいサロン	猪倉公民館	15 名	22 名	13 名	13 名
9	旭 町	歌声広場「あさひ」	杉区公民館	22 名	23 名	次年度	次年度
	合 計			200 名	162 名	151 名	131 名

#### ○担い手「介護予防サポーター」の育成

介護予防サポーターの育成については、亀岡市が開催している担い手育成事業である「介護予防サポーター講座」の中で、地域で活動することの意識づけを目的として精華町での取り組みの実践報告やワークショップを行いました。

また、講座修了生が、今後継続してつながり、共に学び活動を共存する場づくりの一環として、実際に地域で実践されている精華町の見学とワークショップで共通意識を高めました。

その後、介護予防サポーター合同会議やサポーター交流会、リーダー会議を行いながら、現在の活動の振り返りや来年度に向けて自分たちがしたいこと、出来ることについて意見交換するとともに共有、共通認識を深めました。現在、事務局は市社協が担っていますが、事務局運営に興味があるリーダーの参加もあり、自主的な市民活動としての組織化に向けて醸成を図りました。

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 30 年 10 月 24 日（水） 13:00～18:00	精華町北の堂集会所 NPO 法人「みんなの元気塾」	すてき 65 メイトの活動見学と ワークショップ	20 名
平成 31 年 1 月 22 日（火） 13:30～16:30	京都学園大学 光風館 2 階会議室	リーダー会議	5 名
1 月 29 日（火） 15:00～17:00	京都学園大学 光風館 2 階会議室	介護予防事業と介護予防サポーターの活動状況	17 名
2 月 8 日（金） 14:00～15:20	京都学園大学 光風館 2 階会議室	第 14 期介護予防サポーター講座	31 名
3 月 15 日（金） 13:00～15:30	社協世代間交流室	介護予防サポーター交流と 1 分間体操について意見交換	9 名
3 月 15 日（金） 15:45～16:30	社協世代間交流室	体操活動者の振り返りと来年度についての意見交換	8 名

(7) 福祉生活課題解消支援事業

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制を構築する事ができました。

(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを目指し、地域福祉の推進を図ります。また、社会的孤立が危ぶまれる人の「発見」、発見された人を適切な機関に「つなげる」、またどこにもつながらない人や地域との関わりを拒否している人などを「見守る」ためのシステム(ネットワーク)づくりを目的としています。

ア. 地域福祉コミュニティ推進のための事業

①地区社会福祉協議会の推進及び支援

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等、各地区の活動への支援を積極的行いました。(会議出席2回、研修会2回、取材1回)

【設立されている地区社協】

- ・保津町社会福祉協議会 (昭和39年4月設立)
- ・亀岡地区社会福祉協議会 (昭和51年5月設立)
- ・曾我部町地区社会福祉協議会 (平成5年4月設立)
- ・吉川町地区社会福祉協議会 (平成18年3月設立)
- ・本梅町地区社会福祉協議会 (平成18年11月設立)
- ・蒔田野町地区社会福祉協議会 (平成20年2月設立)
- ・篠町地区社会福祉協議会 (平成21年3月設立)
- ・宮前町地区社会福祉協議会 (平成22年11月設立)
- ・亀岡地区東部社会福祉協議会 (平成22年12月設立)
- ・東つつじヶ丘地区福祉協議会 (平成23年3月設立)
- ・南つつじヶ丘地区社会福祉協議会 (平成23年10月設立)
- ・亀岡地区中部社会福祉協議会 (平成24年2月設立)

地区社会福祉協議会の推進及び支援		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成30年 5月13日(日) 20:00~21:15	曾我部町地区社会福祉協議会 「総会」	曾我部町自治会 57名
6月28日(木) 20:00~21:00	本梅町地区社会福祉協議会 「委員総会」	ほんめ町ふれあいセンター 33名

地区社会福祉協議会の推進及び支援		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 7 月 2 日(月) 9:00～10:30	保津町自治会 保津町社会福祉協議会 「地域の力 3」発行取材	保津町自治会 2 名
8 月 4 日(土) 10:00～11:30	亀岡地区東部社会福祉協議会 「ボランティア養成講座」	古世総合センター 10 名
10 月 9 日(火) 20:00～21:00	曾我部町地区社会福祉協議会 研修会 「赤い羽根共同募金の適正な使用 について」	曾我部町自治会 21 名

## ②地域サロン活動の推進

亀岡市内において、各地域でサロン活動が活発に行われ広がりを見せており、訪問し支援を行いました。(訪問回数 42 回)

## イ．地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

各地域の住民向け、サロン参加者など、小さい単位で地域に出向き、孤立しがちな高齢者や、災害時の要配慮者への理解を求める講座を開催しました。また、福祉出前講座として、シルバー人材センターや生協の会員、郵便局職員向けに講座を行い、見守り通報活動等への協力を求めました。(講座回数 12 回)

地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 6 月 21 日(木) 13:00～13:45	シルバー人材センター 「認知症サポーター養成講座」	シルバー人材センター 10 名
7 月 22 日(日) 10:00～12:00	蒔田野町住民講座 「認知症サポーター養成講座」	蒔田野町自治会 70 名
9 月 11 日(火) 10:00～12:00	京都生協亀岡 B エリア 「防災学習会」	京都生協南丹支部 8 名
9 月 13 日(木) 15:00～16:00	大井町ふれあいサロン スマイル桜ヶ丘 「災害についての勉強会」	大井町桜ヶ丘自治会 19 名

地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 10 月 14 日(日) 10:00～11:30	蒔田野町住民講座 「認知症サポーター養成講座」	第二亀岡園 87 名
10 月 15 日(月) 10:00～11:30	京都生協亀岡 A エリア 「防災学習会」	ガレリアかめおか 10 名
11 月 11 日(日) 10:00～11:30	蒔田野町住民講座 「ふれあい声かけ訓練」	第二亀岡園、蒔田野町内 42 名
11 月 14 日(水) 13:30～15:30	亀岡地区西部 「オレンジカフェ」	老人福祉センター 12 名
平成 31 年 2 月 2 日(土) 13:30～16:00	宮前町 「サロン担当者交流会」	神前ふれあいセンター 24 名
2 月 10 日(日) 10:30～12:00	千歳町 「健康長寿を目指して」	千歳町自治会 13 名
2 月 23 日(土) 13:00～13:45	亀岡郵便局 「認知症サポーター養成講座」	亀岡郵便局 23 名
3 月 18 日(月) 9:30～14:00	つつじヶ丘地区民児協 「非常災害時における要配慮者支援 の模擬訓練」	市民ホール 48 名

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広く、男女の比は、女性の相談の方が多かったです。相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら、解決に向け取り組みました。その他、電話による状況確認、訪問など、継続的でさりげない見守り等を行いました。(相談件数 50 件 対応回数 62 件)

#### ウ. 見守りサポーターの養成

要配慮者の見守り支援を行うサポーター(社協寄り添いサポーター)の養成と活動充実。定例会の開催と研修会において、活動についての話し合いや、技術の向上を図りました。また家族教室にも出席し当事者家族と関わる機会を設けました。

見守りサポーターの養成		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 6 月 15 日(金) 10:30～12:00	第 1 回 定例会議	社協世代間交流室 5 名
10 月 26 日(金) 13:30～15:30	ひきこもり家族教室 「パステルアート」	社協世代間交流室 6 名
12 月 21 日(金) 13:30～15:30	ひきこもり家族教室 「家族との関わりのなかで」	社協世代間交流室 3 名
平成 31 年 2 月 22 日(金) 13:30～15:30	ひきこもり家族教室 「ライフワークを考えるにあたって」	社協世代間交流室 2 名
3 月 14 日(木) 10:30～12:00	第 2 回 定例会議	社協世代間交流室 4 名

エ. 青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

見守りの対象者となりがたい人への支援として、ひきこもり家族教室の開催（年 5 回実施、参加人数のべ 48 人）とともに、個別相談などの個別ケースへの対応を行いました。また、福祉関係、教育関係など、支援機関同士のつながりを目的とした「なんたん子ども若者ネットワーク会議」、連携強化のための「なんたんユース HUB 会議」の開催など、関係機関との連携のための体制ができました。

また平成 31 年度 1 月より、ひきこもりに係る相談支援の強化・拡充を行い、相談窓口での、ひきこもりに関する相談は 2 件でした。（1 月 1 日(火)～3 月 30 日(土)までの総合相談件数 12 件）

青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 4 月 19 日(木) 10:30～12:00	第 1 回 なんたんユース HUB 会議	社協世代間交流室 7 名
6 月 7 日(木) 10:30～12:00	第 2 回 なんたんユース HUB 会議	アウラ学びの森 6 名
6 月 22 日(金) 13:30～15:30	第 1 回ひきこもり家族教室 「自分自身を知りましょう」	社協世代間交流室 10 名



青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 6 月 28 日(木) 10:00～12:00	第 5 回 なんたん子ども若者ネットワーク 会議	南丹広域振興局 37 名
8 月 2 日(木) 10:30～12:00	第 3 回 なんたんユース HUB 会議	なんたん地域若者サポート ステーション 9 名
8 月 24 日(金) 13:30～15:30	第 2 回ひきこもり家族教室 「一步を踏み出す支援の取り組み」	社協世代間交流室 11 名
10 月 4 日(木) 10:30～12:00	第 3 回 なんたんユース HUB 会議	社協世代間交流室 8 名
10 月 26 日(金) 13:30～15:30	第 3 回ひきこもり家族教室 「パステルアートをとおして自分 と向き合いましょう」	社協世代間交流室 13 名
11 月 15 日(木) 10:00～12:00	第 6 回 なんたん子ども若者ネットワーク 会議	南丹広域振興局 32 名
12 月 6 日(木) 10:30～12:00	第 4 回 なんたんユース HUB 会議	アウラ学びの森 8 名
12 月 21 日(金) 13:30～15:30	第 4 回ひきこもり家族教室 「家族との関わりのなかで」	社協世代間交流室 9 名
平成 31 年 2 月 12 日(火) 10:30～12:00	第 5 回 なんたんユース HUB 会議	なんたん地域若者サポート ステーション 7 名
平成 31 年 2 月 22 日(金) 13:30～15:30	第 5 回ひきこもり家族教室 「ライフワークを考えるにあたって」	社協世代間交流室 10 名

オ. 要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月に一回、市と社協の担当者で会議を行い、事業の進行状況の確認と、個別ケースについて話し合いを行いました。

カ. 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

サロン活動者対象の研修・交流会を開催し、活動への意欲と意識を高めることができました。サロンを楽しく魅力あるものにするために協力していただけるボランティア団体の紹介も行い、サロン活動者同士が交流し、ヒントを得て新たな活動のきっかけ作りの機会となりました。また、アンケート調査も行い地域のニーズを把握することができました。

第7回きょうと地域福祉活動実践交流会をガレリアかめおかで開催し、地区社協、自治会役員の方々に案内することで、自分たちの地域でできることを考えてもらうきっかけになりました。またポスターセッションでは地域活動者にもポスター出展をしていただき、他地域との情報交換を行いました。

地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
平成 30 年 11 月 28 日(水) 13:00～15:30	サロン活動者 研修・交流会	ガレリアかめおか 75 名
平成 31 年 2 月 16 日(土) 12:30～16:30	第7回きょうと地域福祉活動実践交流会 主催：・京都府市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロック ・京都府市町村社会福祉協議会連合会 ・京都府社会福祉協議会 テーマ：歴史は変わる、地域も変わる、私たちが 変える～地域づくりはみんなの力で 丹 波の国から いざ出陣～ 基調講演：「地域づくりはみんなの力で」 クロージング：「地域のファンをつくろう！」 基調講演・クロージング講師： 華頂短期大学 准教授 名賀 亨 氏 活動交流：「地域福祉活動ポスターセッション」 府内 50 団体が出展	ガレリアかめおか 府内参加者約 800 名 (内、亀岡市参加者 44 名)

【事業成果】

相談員や寄り添いサポーターの訪問活動、地域の民間事業所への協力の要請等により、地域で孤立状態になることを防ぐための見守り体制づくりを進めると同時に、関係機関、行政と連携しながら支援を行う体制の構築ができました。

ひきこもり等、制度の狭間で公的支援が受けにくい人への支援を、構築したネットワークを利用しながら進められたことは、大きな成果となっています。

(9) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ベッド貸出 37件 (平成29年度 35件)
- ・車イス貸出 146件 (平成29年度 132件)

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○貸出実績

(単位：回)

用 品	サロン	子ども会	地区社協	福祉施設	福祉協力校	自治会	その他	合 計
安全ボーリングセット		1				3	3	7
ジャンボサイコロ	1					2	2	5
ドレミパイプセット							1	1
ストライククッションボード								0
輪投げセット	3	1		1		3	4	12
マグダーツ	1					3	1	5
たいこ相撲								0
ジャンボトランプ							1	1
バスケットビンゴ		1		1		3	3	8
お手玉ボード	1	1				1	2	5
ターゲットゲーム		1		1		3	3	8
デジタルビンゴ	2			1		1		4
カーリンコン						1		1
オセロ								0
ビンゴ								0
古里かるた	1							1
江戸いろはかるた	1							1
クリスマスツリー	2							2
サンタ衣装	2							2
室内グラウンドゴルフ	1	1					1	3
プロジェクター						1	5	6
ケーブル								0
スクリーン							4	4
DVDプレーヤー								0
マイクスタンド								0
マイクアンプ (スピーカー)						1	1	2
マイク						1	1	2
募金箱置型								0
募金箱手持型							2	2

用 品	サロン	子ども会	地区社協	福祉施設	福祉協力校	自治会	その他	合 計
展示パネル						1		1
ポップコーン機								0
綿菓子機		1		1		4	3	9
紅白幕				1				1
イス				1				1
机				1				1
テント								0
缶バッヂ作成機								0
着ぐるみ							1	1
台車								0
きね								0
うす								0
もち切り器								0
蒸し器・蒸し布								0
ざる								0
高齢者体験グッズ				1	4			5
車椅子(体験学習用)					11			11
車椅子用スロープ								0
アイマスク					6			6
DVD (なんたん元気づくり体操・高齢者期は食べ盛り)								0
その他					9		2	11
合 計	15	7	0	9	30	28	40	129

### 3. ボランティア活動支援事業

#### (1) ボランティアセンター運営事業

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。

＜ボランティアセンター登録数＞

- ・個人ボランティア 13名（平成30年度登録数）
- ・ボランティアグループ 28グループ

#### ①ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援

- ・ボランティア7の日

ボランティアグループ、個人ボランティアの方々を対象とし「ボランティア7の日」事業を開催しました。亀岡市内に全戸回覧をおこない、ボランティアセンターの紹介とともに、毎月7日のパソコン連続講座の開催を広報し参加者を募集しました。申し込み者を対象に、チラシの作り方や、表計算を学んでいただき、それぞれのスキルアップとボランティア活動のレベルアップの支援をおこないました。ボランティアグループ同士の繋がりや関係作りをめざしました。

開催日：平成30年7月7日（土）～平成31年3月7日（木）全13講座開催

参加者数：延べ人数113名

内容：「案内文を作ろう」「チラシを作ろう」「表計算の基礎」「名刺」他

#### ②ボランティアグループ運営相談・助成金相談

常時運営相談や助成金申請の相談支援を行っています。

#### ③集めて送るボランティア・ボランティア活動の推進

市民の方から寄せられた使用済み切手、プリペイドカード、書き損じはがきを、活動内容を事前に確認の上で、環境保護団体やハンディキャップのある子ども達を支援している団体に支援として適時送っています。

平成30年度、約480,000個のエコキャップが寄せられ、保険医療の恵まれない地域の子どもの達や被災者支援の団体に送り、600人分のポリオワクチンとして支援に使われました。またプルタブは、580.7kg集まり車いすの寄贈をめざし、市民の方への貸出に使います。

#### ④ボランティアの派遣調整（マッチング）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

この数年の中でボランティアセンターの周知も進み、依頼件数も増えています。

ボランティア活動への支援内容	H28	H29	H30
ボランティア派遣依頼（アトラクション等）	20	35	55
ボランティア派遣依頼（傾聴・健康講話等）	8	7	18
ボランティアグループ 運営相談支援	1	10	5
ボランティアを始めたい方への相談援助	6	3	14
その他ボランティア全般に関する相談	1	2	2

(2) 各種団体主催のボランティア講座・研修へ講師の派遣

講 座 名	開 催 日 時・場 所
亀岡地区東部地域住民講座 ～地域支援ボランティア講座～	日時：平成 30 年 8 月 4 日（土）10：00～12：00 場所：古世総合センター

【事業成果】

ボランティア 7 の日としてパソコン教室を開催することによって、ボランティア同士のつながり作りや事務力向上につながりました。また、毎月社協に来所していただくことにより、周知につながり、個人ボランティアとして活動していただくケースもありました。

気軽にできるボランティアとしてプルタブやエコキャップの収集も昨年度と比べ増えました。ボランティアセンターの冊子を全戸回覧することにより、派遣依頼の件数も増え、新たにボランティアに取り組みたい方の相談もありました。

(3) 災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成 24 年 9 月 1 日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

【災害ボランティアセンター活動内容】

年 月 日	項 目	内 容
平成 30 年 6 月 9 日（土）	平成 30 年度京都府災害ボランティアセンター総会 主催：京都府災害ボランティアセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業報告・決算について</li> <li>・平成 30 年度事業計画・予算について</li> <li>・役員選出</li> <li>・報告（資料のみ）</li> </ul>
6 月 15 日（金）	平成 30 年度市町村社協災害ボランティア担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度京都府災害ボランティアセンターの取り組み</li> <li>・平成 30 年度京都府社会福祉協議会の取り組み</li> <li>・関係団体からの情報発信（災害 NPO ネットワーク・京都府災害派遣チーム DWAT）</li> <li>・台風 18 号・21 号支援の実際、実践報告（福知山社協・舞鶴市社協・綾部市社協・宮津市社協・京丹後社協）</li> </ul> <p style="text-align: right;">地域支援課長参加</p>

年 月 日	項 目	内 容
平成 30 年 6 月 25 日 (月)	平成30年度第1回亀岡市災害ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業報告・決算について</li> <li>・平成 30 年度事業計画・予算について</li> <li>・亀岡市の災害対応について</li> </ul> 講師：亀岡市自治防災課 防災・危機管理係 齊藤係長 運営委員・事務局（局長他職員 3 名対応）参加
9 月 13 日 (木)	亀岡市大井町桜ヶ丘ふれあいサロンスマイル桜ヶ丘 【災害についての勉強会】	内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備える（自助・共助・公助）</li> <li>・避難をする</li> <li>・もし、災害にあってしまったら</li> <li>・災害ボランティアセンターを知る</li> <li>・亀岡市災害ボランティアセンターの活動について</li> </ul> 地域の方に災害についての情報を提供し、防災・減災についての意識を高めていただく取組みが出来た。 また、亀岡市の災害ボランティアセンター活動についても理解を深めて頂いた。 府社協担当者 1 名・社協担当職員 1 名参加
9 月 11 日 (火) 10 月 15 日 (月)	平成 30 年度京都生協 亀岡～防災学習会～	Aエリア会・Bエリア会の 2 日間対応する。 非常時に備えて頂く事の大切さについての基本的なことを理解していただき、心構えや非常時に使えるものを常日頃から用意する事、非常時に便利な物などを紹介する。 地域支援課地域福祉係長、職員 1 名
10 月 21 日 (日)	「第 31 回市民福祉のつどい」	災害ボランティアセンターコーナーを設け、豪雨災害パネル展・災害ボランティアパネル展示・土嚢袋にメッセージを書こうコーナーなど、来場者の市民の方（子供さん）に亀岡災害ボランティアセンターの活動を知っていただき、防災減災の意識を高めていただく取組みを行った。 コーナー担当職員 2 名対応
11 月 10 日 (土)	人権福祉フェスティバル 災害ボランティア登録ブース対応	人権福祉センターにて人権福祉フェスティバルが開催され、災害ボランティアブースを設置し、登録ボランティアを募集した。来場者 4 名様に登録して頂け、また来場者の皆様に防災・減災に関する意識も高めていただくことが出来た。 事務局長・地域支援課長 2 名参加

年 月 日	項 目	内 容
12月5日(水)	京都府災害ボランティアセンター トップセミナー (1日目)	<p>【講義】 「災害VCの平常時体制の移行に係る判断基準とは」 ～判断基準、段取り、適切な時期、タイミング～ 講師：Nukiito 代表 高山 弘毅氏</p> <p>【実践報告】 各市町村災害VCにおける閉所判断の基準とは ①福知山市災害ボランティアセンター ②舞鶴災害ボランティアセンター ③綾部市災害ボランティアセンター ④宮津市災害ボランティアセンター コーディネーター：Nukiito 代表 高山 弘毅氏</p> <p>被災住民を中心とした支援を目指す災害ボランティアセンターの運営（開設期～閉鎖期）を推進するため、センター長に求められる役割、責任が多岐にわたることから、災害ボランティアセンター運営時に役立つリスクマネジメントについて学ぶ。</p> <p>災害ボランティアセンターの平常時移行に移る判断基準をテーマに取り上げ、判断材料、段取り、適切な時期、タイミング等を整理し、適切な判断を可能とするための条件の整理する。</p> <p>事務局長（災害ボランティアセンター長）参加</p>
12月12日(水)	京都府災害ボランティアセンター トップセミナー (2日目)	<p>【課題提起】 大切にしたい生活支援の柱について 説明者：京都府災害ボランティアセンター 代表 余田 正典 氏</p> <p>【講義】 災害ボランティアセンター閉所後の生活支援 ①センターだからこそ出来る中期的なアプローチとは ②先駆的な生活支援取組実践紹介 講師：Nukiito 代表 高山 弘毅氏</p> <p>被災住民を中心とした支援を目指す災害ボランティアセンターの運営（開設期～閉鎖期）を推進するため、センター長に求められる役割、責任が多岐にわたることから災害ボランティアセンター運営時に役立つリスクマネジメントについて学ぶ。</p> <p>今回、災害ボランティアセンターの閉所後の生活支援をテーマに取り上げ、アプローチ方法や取り組み内容を先駆的な事例から学ぶとともに、具体的な取り組みリストをもとに、多様なアプローチについて研鑽していく。</p> <p>事務局長（災害ボランティアセンター長） 地域支援課長（災害ボランティアセンター副センター長）2名参加</p>



年 月 日	項 目	内 容
平成 31 年 3 月 18 日 (月)	つつじ地区災害時における要配慮者支援模擬訓練 場所：亀岡市市民ホール	<p>つつじヶ丘地区民児協では、「災害時における要配慮者の救助・誘導について」安全確保の実際を習得することとして、去年春以降から取組みを行なわれている。</p> <p>今回は更に研修を効果的に進めるために模擬訓練を実施され、参加させて頂いた。</p> <p>民生委員さんの実際の動きの確認、車いすの使い方体験</p> <p>高齢福祉課長による避難所開設時の要配慮者支援について講義、討論会、亀岡消防による非常時の担架の使い方、非常食体験を通して、民生委員さんとの連携や、災害ボランティアセンターとしての役割の再確認が出来た。</p> <p>地域支援課長、地域福祉係長 2 名参加</p>

【平成 30 年 7 月豪雨・平成 30 年 9 月短期集中豪雨に伴う支援活動】

非常時体制 移行期間	支援地区	支援 件数	活動内容	ボラン ティア人数	従事 職員
平成 30 年 7 月 5 日 (木) ～ 7 月 16 日 (月)	畑野町	3 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨対応について協議</li> <li>・被災地の現地確認</li> <li>・ニーズの確認、ニーズの受付</li> <li>・支援活動場所の確認</li> <li>・ボランティア募集・調整・受付</li> <li>・資機材、物品管理</li> <li>・現地支援活動（家屋及び敷地内外の流入物（泥など））の除去</li> </ul>	17 名	101 名
9 月 10 日 (月) ～ 10 月 8 日 (月)	宮前町 本梅町	1 件 8 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨対応について協議</li> <li>・被災地の現地確認</li> <li>・ニーズの確認、ニーズの受付</li> <li>・府災害ボランティアセンター等へのボランティア要請</li> <li>・支援活動場所の確認</li> <li>・ボランティア募集、調整、受付</li> <li>・資機材、物品管理</li> <li>・現地支援活動（家屋及び敷地内外の流入物（泥など））の除去</li> </ul>	75 名	249 名

※ 支援件数、ボランティア人数、従事職員人数は延べ件数・人数となっています。

※ ニーズの把握、ボランティアの募集、活動内容については、社協ホームページ・フェイスブックで行っています。また、ボランティアの募集については府災害ボランティアセンターのホームページでも行っています。

## 【事業成果】

平成30年度については7月豪雨・9月短期集中豪雨と2度の災害ボランティアセンターの非常時体制移行により災害ボランティアの募集を行ない、ボランティア派遣を行なった。土砂災害という初めての対応でありましたが、亀岡市や各関係機関、また近隣社協の協力を得て復興支援を行なえました。

また、7月豪雨に伴い、京都市市町村社会福祉協議会連合会からの依頼を受け、次のとおり他市町の災害ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣しました。

平成30年7月21日～7月23日の日程で、綾部市へ京都市市町村社会福祉協議会連合会の第6クールとして職員1名を派遣し、平成30年8月19日～8月23日の日程で、岡山県倉敷市真備町へ近畿ブロック社協の第8クールとして職員1名を派遣しました。

平成31年度の事業としては、9月に大井町桜ヶ丘ふれあいサロンスマイル桜ヶ丘で、京都市災害ボランティアセンターの協力を得て亀岡市の災害ボランティアセンターとして、災害についての勉強会を行ないました。地域の方に災害についての情報を提供し、防災・減災についての意識を高めていただくことが出来ました。また、京都生協亀岡の2つのエリアで、防災学習会を出前講座として開催し、非常時に備えていただくことの大切さなど、基本的な理解を深めていただくことが出来ました。

11月には人権福祉フェスティバルにて災害ボランティア登録ブースを設置させて頂き、来場者4名の方に登録いただきました。

平成31年2月には、去年に引き続き、つつじヶ丘地区民児協で取り組まれた「要配慮者の救護・誘導について」の訓練に参加し、この地域での災害時の民生委員としての動きの確認や協力体制について一緒に検討することが出来ました。

以上のような防災に意識を向けて頂く取り組みを年間通して、各関係機関等と連携し、防災・減災に向けた取り組みを行うことが出来ました。

## 4. 福祉教育

市内の小中学校(計20校)及び福祉施設(計2施設)で、合計54回福祉活動を展開しました。

### (1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒、地域住民、福祉施設職員を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。

### (2) 夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として実施しました。

#### ・社会福祉体験学習の実施内容

- ・期 間 : 平成30年8月6日(月)～20日(月)のうち3日間
- ・参加人数 : 9名(高校生)
- ・体 験 先 : 高齢、児童、障害者施設の中から1ヶ所若しくは複数個所を体験

## 5. 各種団体への支援

### ① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

日 時	事 業 名	内 容
平成 30 年 8 月 29 日（水）	施設見学と情報交換会	亀岡たなばたの郷 見学 講演「防災対策について」 情報交換
10 月 21 日（日）	市民福祉のつどい	いけばなりサイクルアート
11 月 22 日（木）	鑑賞見学会	太田保育園 見学 「アンニヨン クレヨン」さんによる歌とお話し
12 月 1 日（土）	歳末たすけあい運動	市内量販店前、スーパーマーケット、JR 亀岡駅、ホームセンター等

### ② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事業名	内 容
平成 30 年 6 月 27 日（水）	城陽ボランティア連絡協議会との交流会	・ 総合福祉センター見学 ・ 城陽ボランティア連絡協議会の活動紹介 ・ 亀岡ボランティア連絡協議会の活動紹介 ・ 分野別意見交換
10 月 21 日（日）	市民福祉のつどい	・ 喫茶コーナー、ボランティア体験コーナー
12 月 1 日（土）	歳末たすけあい運動 街頭募金	・ 市内量販店前、スーパーマーケット、JR 亀岡駅、ホームセンター等

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

### ③亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取組まれています。会員は約 235 家族。会議の出席・事業の支援を行っています。

### ④亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 51 の老人クラブが加盟する約 2450 名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

#### 平成 30 年度 事業日程報告（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

日 時	事 業 名	内 容	備 考
平成 30 年度 4 月 12 日(木)	正副会長会	前年度事業総括	社協相談室 3
4 月 19 日(木)	正副会長会/監査/理事会	前年度事業報告・決算報告 ・監査報告	社協相談室 3
5 月 7 日(月)	正副会長会	前年度事業報告・決算報告 ・監査報告	
5 月 10 日(木)	会報発行	「市老連かめおか」第 16 号発行 3000 部	
5 月 10 日(木)	単位クラブ会長会	前年度事業報告・決算報告 ・監査報告	ガレリア大広間
5 月 17 日(木)	単位クラブ女性部長会	女性部総会、女性部事業計画	ガレリア大広間
6 月 14 日(木) ～15 日(金)	近畿ブロックリーダー研修会	分科会にわかれ研修会、講演会、交流会	京都市
6 月 15 日(金)	日帰り研修旅行	H30 年度日帰り研修旅行（須磨離宮公園 他）	236 名 39 クラブ
7 月 12 日(木)	正副会長会	各種事業についての審議	社協相談室 3
7 月 14 日(土)	第 68 回「社会を明るくする運動」	講演会	ガレリアかめおか
7 月 19 日(木)	理事会	グラウンドゴルフ大会、市民福祉のつどい準備	社協世代間交流室
7 月 20 日(金)	市長村リーダー研修会	府老連研修会	ハートピア京都
7 月 31 日(火)	公式わなげ講習会	健康づくり事業 公式わなげ、講習とゲーム	ガレリア大広間
8 月 20 日(月)	丹波ブロック女性リーダー研修会	講習会・研修会 等	南丹国際交流会館
9 月 13 日(木)	正副会長会	老人週間・GG 大会・定期大会について	社協相談室 3
9 月 15 日(土) ～21 日(金)	老人の日・老人週間	全国老人クラブ一斉取組み	亀岡市内全域

日 時	事 業 名	内 容	備 考
9 月 20 日(木)	理事会	老人週間・OG 大会・定期大会 について	社協世代間交流室
10 月 2 日(火)	グラウンドゴルフ大会準備	グラウンド整備、大会準備	月読橋球技場
10 月 3 日(水)	グラウンドゴルフ大会開催	市長/議長/会長杯争奪 40 チーム、240 人出場	月読橋球技場
10 月 18 日(木)	京都府老人クラブ大会	京都府老人大会	京都テルサ
10 月 21 日(日)	市民福祉のつどい	伝承あそびコーナー・ステー ジ踊り等企画	ガレリアかめおか
11 月 14 日(水)	役員打ち合わせ	定期大会打ち合わせ	社協世代間交流室
11 月 16 日(金)	府老連わなげ大会	若手委員会主催・公式わなげ 京都府大会	八幡市
11 月 19 日(月)	定期大会等前日準備	開催準備、リハーサル、帳合 い等	ガレリア大広間
11 月 20 日(火) (終 日)	定期大会・指導者研修大 会・健康事業講座	第 36 回亀岡市老連定期大会 健康講座	ガレリア大広間
11 月 22 日(木)	会報発行	「市老連かめおか」第 17 号発 行 2900 部	
12 月 1 日(土)	歳末街頭募金活動	本部役員参加	亀岡市内全域
12 月 2 日(日)	男女共同参画 女性集会	本部役員・理事参加	ガレリアかめおか
12 月 6 日(木)	正副会長会	新春会長・役員会・趣味の作 品展準備	社協相談室 3
12 月 13 日(木)	正副会長会/理事会	新春会長・役員会・趣味の作 品展準備	社協世代間交流室
12 月 25 日(火)	正副会長会	新春会長・役員会	社協相談室 3
平成 31 年 1 月 12 日(土)	新春会長・役員会	新春会長・役員会	玉川楼
1 月 29 日(火)	市町村老連事務局長会議	府老連事業報告、事業計画他	ハートピア京都
2 月 6 日(水) ～7 日(木)	第 34 回 趣味の作品展	33 クラブの 233 人出品、400 点作品展示	ガレリア響ホール
2 月 14 日(木)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	社協相談室 3
2 月 28 日(木)	正副会長会	年間計画、H29 総括/決算、 H30 予算	社協相談室 3
3 月 7 日(木)	正副会長会/理事会	H31 年度予算案審議、H31 年日 帰り旅行選定	社協世代間交流室
3 月 22 日(金)	単位クラブ会長会	年間計画、H31 予算/事業計画、 旅行	ガレリア大広間
通 年 事 業	友愛施設訪問	施設に入所されている方への 友愛訪問	
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢者宅への 友愛訪問	

### ⑤亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指して、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がるよう、いろいろな活動をしています。

日 時	事業名	内 容
平成 30 年 5 月 19 日（土）	第 1 回生活支援講習会	日帰り旅行 「麒麟滋賀ビール工場見学 と近江八幡水郷めぐり」
8 月 19 日（日）	第 2 回生活支援講習会	親子でわくわく工作会 「万華鏡・パズル」
11 月 4 日（日）	第 3 回生活支援講習会	オリジナルのケーキ作り
12 月 23 日（日）	第 4 回生活支援講習会	寄せ植え
12 月 22 日（土）	ひとり親家庭の居場所づくり事業	書道教室
平成 31 年 1 月 13 日（日）	母子寡婦福祉大会・新年のつどい	

## 6. 介護保険事業 介護予防・生活支援サービス事業

### （1）訪問介護・総合事業第 1 号訪問（ホームヘルプ）事業

#### ○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 予 防 訪 問 介 護 (人)	訪 問 介 護 (人)	合 計 (人)
平成 28 年度	3 1 2	2 1 2	3 8 4	5 9 6
平成 29 年度	3 1 0	1 8 7	4 0 1	5 8 8
平成 30 年度	3 0 9	2 3 1	4 2 1	6 5 2

利用者が居宅において、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、寄り添い、利用者が必要とする適切なサービスを提供しました。

### （2）通所介護・総合事業第 1 号通所（デイサービス）事業

#### ○利用実績

年 度	稼動日数 (日)	介護度別登録人数 (年度末) (人)		利用者 延人数 (人)	1 日平均 利用者数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
平成 28 年度	3 0 6	1 6	5 2	5,860	1 9
平成 29 年度	3 0 9	1 3	5 7	5,692	1 8
平成 30 年度	3 0 5	2 1	5 2	6,135	2 0

・長期入院、入所、死去による利用中止 ： 20 件

＊ 通所介護

・ 中重度ケア体制加算の算定を継続

介護度が中重度(要介護 3～5)であっても安心して過ごせるよう、中重度者の受け入れ体制を整えました。また、要介護 3 以上の利用者が 30%以上を占めおり、前年度に引き続き中重度者ケア体制加算の算定を継続しました。

・ 認知症加算の算定を継続

算定にあたって必要な体制を確保していくために、認知症介護実践者等養成研修修了者育成に努め、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者の割合が 20%以上となり、前年度に引き続き認知症加算の算定を継続しました。

＊ 介護予防通所介護

・ 生活機能向上グループ活動加算の算定を継続

利用者自らが日常生活の課題に応じた活動が選択できるよう、日常生活に直結した活動内容を複数準備し、共通の課題を持つグループで、個別の目標設定や計画のもと活動し、生活機能向上グループ活動加算の算定を継続しました。

○ 提供内容

＊ 一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来ました。隣接のガレリアかめおかの催しへの参加を積極的に行い、異なる空間へ出かけることで、利用者の刺激につながりました。

＊ 年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めました。

＊ ベッド臥床者の見守りや利用者の移動・居場所確認を重点に、午後からの職員の配置等の見直しを行い、利用者が安全に過ごしていただけるように努めました。

季節のドライブ、バラ園散策、外食、季節のお茶会、買い物レク(対象を要介護者にも拡充)、園児交流、調理レク、編み物、手作りレク、園芸、ボランティアによる口腔体操 民謡、認知症予防ゲーム、大正琴演奏、中学生の職場体験、実習生の受け入れ
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

＊ 「京都府介護・福祉サービス第三者評価」を受診し、事業所の現状・これからの改善点が明らかになりました。

必要書類の改善、アンケートの実施、苦情に対する取り組みの公表などの具体的な改善方法がわかりました。

○ 職員研修

事業所内外での研修に参加することにより、個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができた。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで、安心して利用していただける施設作りにつながりました。

(3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

【支援内容】

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言。  
利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。

医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

○給付管理・認定調査件数

(単位：件)

	介護保険	介護予防	合計	訪問調査
平成 28 年度	8 2 1	6 7	8 8 8	4 9
平成 29 年度	7 5 1	7 1	8 2 2	3 7
平成 30 年度	8 2 2	8 6	9 0 8	3 5

※主な業務内容

- ・居宅サービス計画書を作成
- ・支援経過観察と再評価
- ・希望により施設入所への支援
- ・必要により居宅サービス計画の変更
- ・介護保険の給付管理
- ・要介護認定等の申請に係る援助

## 7. 障害者自立支援給付事業

《ホームヘルプ事業》

○利用実績

年 度	稼動日数 (日)	身体障がい者(人)	身体障がい児(人)	知的障がい者(人)	精神障がい者(人)	合計(人)
平成 28 年度	3 1 2	1 4 4	4 2	1 5	1 6 0	3 6 1
平成 29 年度	3 1 0	1 3 4	6 0	4 2	1 2 5	3 6 1
平成 30 年度	3 0 9	1 3 2	5 2	4 8	1 2 2	3 5 4

【事業目的】

障害者総合支援法に基づく、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、それぞれの事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者の視点に立ち、利用者が居宅において、より安心・安全で可能な限り自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

\*サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。



## 8. 子育て支援事業

### (1) ひろば事業

家族でいつでも好きな時に来館し、親子で自由に遊べる「かめおかっこひろば」では、保護者どうし、世代を越えた交流の場として、本年度は約2万6千人の利用がありました。

○ふれあいルーム利用状況（団体利用を除く）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成29年度	開館日数(日)	26	27	25	27	26	25	27	25	24	24	24	26	306	82
	利用人数(人)	2,143	1,969	2,121	2,309	2,544	2,332	2,181	2,017	1,743	1,701	1,878	2,258	25,196	
平成30年度	開館日数(日)	26	26	26	24 ※1	26	23 ※2	27	25	24	24	24	27	302	85
	利用人数(人)	1,912	2,068	2,288	2,126	2,559	2,186	2,288	2,155	1,915	1,863	1,803	2,645	25,808	

※1 気象警報発令による休館3日

※2 気象警報発令による休館2日

### ○利用者カードの発行

新規利用申込者数 平成30年度：740人（平成29年度 774人）

### 【成果と課題】

- 新規登録者数は前年度に比べ約1%減少しましたが、開館日数が昨年に比べて4日減少しているにもかかわらず総利用者数は約2%増加しています。また、1日平均利用者数も増加しました。全体的な傾向として、子どもを連れた父親の利用が土日を中心に増えているのが今年度の特徴です。
- 曜日別にみると水曜日（18.9%）、金曜日（17.7%）の来館が多く、土日の利用は合わせて35.3%です。土日を中心に、父親一人で子どもを連れての来館が土日を中心に顕著に増えているのが特徴です。父親が安心して一人でも子どもを連れて遊びに来る場所として、かめおかっこひろばが今後もっと利用されるよう、来年度は土日を「パパウエルカムDAY」として「お父さん一人で子どもを連れてきても安心して遊べる場所」として広めていきたいと考えます。
- 年齢別に見ると、0、1歳児が全体の61.8%を占めており、この傾向はここ数年続いています。  
初めて来館する小さいお子さんをもつ人には、特に丁寧な説明や対応をすることをスタッフ全員が心がけています。また、ファミリー・サポート・センタースタッフとの連携を図りながらより迅速できめ細やかな支援につなぐようにしています。
- 今年度から整備し直した前庭を「かめおかっこガーデン」として開放しています。ゆっくりお昼ごはんを食べたり、昆虫や植物などの自然とふれあったりできる場所として利用者からも好評を得ています。

## (2) つどい事業

## ○事業実績

事業名・対象	実施回数	参加人数	実施内容	実施日	講師・協力団体
プレびよひろば (妊娠中)	7	93	わらべうた胎教マッサージ	5月28日	森中 美由紀さん
				11月12日	
				3月11日	
			ベビークラウン作り・交流会	6月11日	
				2月18日	
			助産師を囲んでの交流会	1月21日	森川好美さん
			子育てママのミニマナー講座	10月1日	近畿財務局京都財務事務所
ひよこひろば (妊娠中～6か月まで)	12	421	ふれあい遊び	毎月 第2水曜日	
			寝相アート		
			交流会		主任児童委員
			子どもの発達と子育ての話		保健師(亀岡市子ども未来課)
			ベビーマッサージ		芦田澄子さん
			子育てママのミニマナー講座		近畿財務局京都財務事務所
			防災の話		
ひよこひろば (7ヶ月～1歳まで)	12	545	ふれあい遊び	毎月 第4水曜日	
			すくすく相談(離乳食)		栄養士(亀岡市保育課)
			パネルシアター・テーブルシアター		湯浅和江さん
			リフレッシュ体操		丸山礼子さん
			交流会		主任児童委員
			絵本の読み聞かせ		
			1歳のお誕生会		
ぷくぷくひろば (1歳～2歳未満)	5	162	リトミック	5月29日	岩崎真理子さん
			ふれあい遊び・紙芝居	9月28日	榎麗子さん
			おまつりごっこ	11月7日	
			新聞紙遊び・パラバルーン遊び	2月5日	榎麗子さん
			ダンボール箱遊び	3月29日	
きらきらひろば (2歳以上)	9	292	ふれあい遊び	4月17日	榎麗子さん
			リズム遊び	5月15日	
			感触遊び	6月19日	
			庭遊び	7月17日	
			新聞紙遊び	10月30日	
			落ち葉遊び	11月20日	
			楽器遊び	1月15日	
			パネルシアター・パラバルーン遊び	2月19日	
			お店屋さんごっこ	3月19日	

事業名・対象	実施回数	参加人数	実施内容	実施日	講師・協力団体
みんなのひろば (全年齢)	4	270	音楽会・コーラス・紙芝居・人形劇・絵本の読み聞かせなど	5月8日	オカリナサークルtururu
				7月20日	UFOT21
				11月6日	みなみのかぜ
				1月18日	亀岡子どもの本研究会
カンガルーひろば (1歳以上)	3	124	親子ふれあい遊び	5月26日	
			ハロウィンイベント	10月28日	
			3B体操・節分遊び	2月3日	井上八千代さん
子育て講座	2	79	講座「遊びを支える見る力」	6月26日	高野芳子さん (学校心理士)
			講座「つながる子育て～子どもと育む発達のつながり～」	1月30日	中村祐輔さん (臨床心理士)
世代間交流事業	7	477	多胎児家族交流会	2月24日	
				6月3日	
			クリスマス会	12月17日	廣田勇さん・ミュージックcoco
				5月16日	本梅・東本梅保育所
				6月22日	亀岡幼稚園
			園児交流	3月8日	中部保育所
			園児交流	3月15日	別院保育所
子育てネットワーク 事業	6	60	普通救命講習会	5月20日	京都中部広域消防 組合の救急救命士
				10月3日	
				1月16日	
		61	子育てサークル代表者交流会	5月21日	子育て支援者・子育て サークルの代表者 子ども未来課職員
				11月5日	
				3月4日	
絵本のひろば	12	548	絵本の紹介・読み聞かせ	毎月 第2金曜日	北川チハルさん
合計	79	3,132			

### 【成果と課題】

- ・ 今年度、より充実した内容の事業を提供するため、事業の回数や名称を見直しました。対象年齢の特徴をもとに「きりんのひろば」は「ぷくぷくひろば」、「うさぎのひろば」は「きらきらひろば」、「親子体験事業」は「カンガルーひろば」へと、利用者により分かりやすい名称に変更しました。
- ・ 2歳児以上対象の「きらきらひろば」を5回から10回に増やしました。就園に向けて集団で遊ぶ経験の積み重ねを出来る場として、毎回参加される方も多く見られました。
- ・ 「カンガルーひろば」は土曜日に開催し、父親、祖母、祖父も含む家族での参加を促した事で、当日は家族そろっての参加が多く見られました。この事業が、母親一人に負担がかかりがちな育児を家族みんなで担い、育児を共有するきっかけ作りの場となるように今後も内容を充実させていきたいと考えます。

○出前ひろば

亀岡市立保育所子育て支援推進員、主任児童委員、子育て支援実践者等の皆様と連携して、地域における身近な場所で親子が集い、人々との交流から、安心と喜びが生まれる地域づくりをすすめました。

場 所	回数 (回)	家庭 数 (件)	参 加 者 数 (人)				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合 計
畑野健康ふれあいセンター	1	4	4	4	7	6	21
蒔田野生涯学習センター	2	12	16	12	18	15	61
亀岡市立図書館中央館	4	40	46	40	0	49	135
西つつじヶ丘ふれあいセンター	2	15	16	15	0	19	50
合 計	9	71	82	71	25	89	267

【成果と課題】

- ・ 昨年度の参加者の様子などを元に、ひろば事業の時間配分を見直し、保護者同士の交流の時間をメインにおき、ひろばを開催しました。交流会の間、子どもたちは民生委員児童委員の方と安心して遊び、保護者は交流会でゆっくりと話が出来ました。また、民生委員児童委員の方や地域のサロンの方、小学生などの参加により、出前ひろばがより深まりました。笑顔で帰られる親子の顔を見ると、地域の方、多世代の方と子育て世代が交流することで、子育てのしんどさ、孤独感の軽減につながったことを感じます。民生委員児童委員の方や地域の方々の積極的な参加と関わりは、保護者も子どもも心を開き、より一層地域での子育てのしやすさにつながっていくと感じます。
- ・ 亀岡市立図書館との連携の中での絵本の読み聞かせは、大人も子どもも同じ絵本を通し、気持ちを共感でき、とてもよい時間となっています。また、読み聞かせだけでなく、会場に絵本を持って来て下さることで、様々なジャンルの絵本に触れたり、見たり、読むきっかけになっています。

(3) 相談事業 (おひさま)

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的なことは他機関との連携を大切に取り組んでいます。

○相談件数

(単位：件)

相談事項	来館相談	電話相談	合 計
食 事	54	3	57
排 泄	11	0	11
睡 眠	7	1	8

相談事項	来館相談	電話相談	合 計
身体・健康	6 2	3	6 5
ことば	1 1	0	1 1
情緒・社会性	1 1	0	1 1
子ども同士の関わり	4	0	4
育児方針	0	0	0
母親支援	3 2 3	7	3 3 0
学校・幼児教育	1 2	0	1 2
苦情	6		6
その他	1 2	0	1 2
合 計	5 1 3	1 4	5 2 7

#### 【成果と課題】

- ・ 今年度は、延べ5 2 7件の相談がありました。その多くは、ルーム内での何気ない会話から相談になるものでした。今年度の大きな特徴としては、育児不安を抱える人を別室でゆっくり対応し、長期にわたって支援するケースが増えていることです。育児不安の背景には、家族や夫婦の問題、両親との関係などがあります。少しでも不安が和らぐように、スタッフは傾聴に努め、ゆっくり丁寧に対応する事を心がけました。
- ・ ファミリー・サポート・センターのスタッフとも相談の情報を共有し必要に応じて対応しました。例えば急なサポートが必要だという相談の場合には、ファミリー・サポート・センタースタッフが迅速に送迎や託児の環境を整え、利用者のニーズに寄り添いました。
- ・ 他市から相談に来られたり、就園してからも「話を聞いて欲しい」と来られる方もあり、当支援センターが子育て家族のより身近な存在になっていることを感じます。
- ・ 相談内容によっては、市役所人権啓発課や、こども未来課家庭児童相談室などの他機関につなげたケースもありました。今後も利用者により寄り添う中で信頼関係を築くと共に、関係機関との連携を密にしながら利用者支援を進めていきたいと考えます。

#### (4) 妊婦来館推進事業

妊婦からの子育て支援として、前年度より妊婦来館推進事業を始めました。保健センターと連携をとり、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や子育ての輪（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡して、支援センターが妊婦とつながるきっかけを作りました。

#### 【妊婦登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年	0	4	0	6	5	6	1	9	2	0	7	5	45
29年	5	1 3	1 2	2	5	6	7	3	4	4	6	13	80
30年	5	7	4	5	9	8	2	7	4	7	6	7	71

### 【成果と課題】

- ・ 今年度は、妊婦登録者が前年より、少し減りました。保健センターとの連携や広報などさらに積極的に行っていく必要があります。
- ・ 妊婦登録とともにお渡しする「子育ての輪」の製作は、去年度につき、小松寺の井上さんが担ってくださいました。自宅（お寺）を月に2回開放し地域のお年寄りなどを招いて、1年間でたくさんの「子育ての輪」を作ってくださいました。また、ファミリー・サポート・センターのまかせて会員である春木さんも個人で製作に関わってくださいました。
- ・ 今年度は助産師の森川さんを講師にしたひろばも開催しました。専門的な立場から妊婦の小さな不安や悩みにも寄り添って言葉をかけるなどしていただき、参加者からは安心できたという好評でした。
- ・ 今年度は妊婦対象の「プレびよひろば」の実施回数を増やしました。ただ、妊婦登録者は第2子、3子を出産する方の割合が非常に高く、第1子出産の方の参加が少ないのが課題です。今後、プレびよひろばの土曜開催なども視野に入れて、より初産婦の方も参加しやすい体制を整えていきたいと考えます。

### (5) 情報提供事業

○情報誌「かめおかっこひろば おたより」の発行

- ・ 毎月1回（年間 12回）
- ・ 発行部数 毎号200部

○ホームページによる広報

○Face book による子育て支援センターの事業情報の提供

### (6) 子育てサークル・サロン支援

- ・ 実施団体数： 13団体
- ・ 開催回数： 延べ 137回
- ・ 参加人数： 延べ3635名

### (7) チャイルドシート貸出事業

○平成30年度チャイルドシート貸出台数

(台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成28年度	7	2	5	10	9	5	9	7	15	7	3	6	85	7
平成29年度	9	5	7	13	7	1	5	7	13	4	3	11	85	7
平成30年度	12	7	7	17	9	6	6	11	13	6	4	13	111	9

※ゴールデンウィーク前の4月後半、夏休み～お盆、年末年始は家族の帰省時に利用する方が多く、今年度初めて12月後半には在庫が0になりました。市役所ホームページなどでチャイルドシート貸出の情報を入手し、借りに来られる方が増えています。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

子育ての援助を受けたいおねがい会員と、援助を行いたいまかせて会員により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。

ファミリー・サポート・センターは、安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
おねがい会員	493	510	710
まかせて会員	208	238	254
両方会員	73	72	80
合 計	774	820	1,044

イ. 相互援助活動件数

○実績

	活 動 内 容	28年度	29年度	30年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	59	44	0
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	101	108	120
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	0	7	0
4	小学校の放課後の預かり	0	5	1
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	1,527	896	202
6	学童保育の帰宅後の預かり	0	0	0
7	子どもの病気の援助	1	1	0
8	子どもの習い事等の場合の援助	614	539	511
9	保育施設・学校など休みの時の援助	19	43	20
10	保育施設など入所前の援助	0	0	4
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	9	38	17
12	保護者等の求職活動中の援助	0	0	2
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	4	0	0
14	保護者等の外出の場合の援助	19	10	53
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	31	38	15
16	その他	134	31	68
合 計		2,516	1,760	1,013
新会員登録数	おねがい会員	48	86	214
	まかせて会員	18	18	22
	両方会員	6	10	8
	合 計	72	114	244
マッチング件数		69	64	52

## 【成果と課題】

- ・ 今年度は市民の方がファミリー・サポート・センターを知り、事前登録することによって利用しやすくすることを目的として、かめおかっこひろば利用者への説明会・保健センター健診時出張説明会・かめおかっこ出前ひろば出張説明会などに力を入れ、おねがい会員登録者が約210人増えました。

依頼内容は習い事への送迎、学童保育の迎え及び帰宅後の預かりが多く見られますが、学童保育の時間が今年度から18時30分に延長されたこともあり、定期的な活動は減少傾向にあります。保護者の方の依頼内容に応じて、かめおかっこひろば内での一時預かりも始め、保護者の方からは「子どもがいつも遊んでいる場所で預かってもらえるので安心して預けられる」と好評です。

これからもいろいろな機関へ出向き、ファミリー・サポート・センターのことを広報し、より多くの地域の子育て支援活動が充実することを目的として活動に取り組みます。

## ウ. 会員活動実績

### ○交流会実績

	実 施 日	参加人数	内 容
会員交流会 「料理交流会」	平成30年 12月4日(火)	15人	講師：青柳 真輝子さん ・雪印メグミルク食育担当の青柳さんをお迎えし、牛乳や乳製品を使って簡単にできる料理を教えてくださいました。 ・試食をしながら交流会をしました。
会員交流会 「ヨガ体操」	平成31年 2月20日(水)	14人	講師：濱中 一美さん ・ヨガ体操のあと、グループに分かれてファミサポについての話をして交流しました。
合 計		29人	

## 【成果と課題】

### ①おたのしみ交流会

- ・ 年1回おたのしみ交流会を開催しており、今年はファミサポ開設15周年のイベントも行う予定をしていましたが、大雨洪水警報が発令されたため中止しました。

### ②料理交流会

- ・ 料理交流会は子育て中の方にも人気がありたくさんの方の参加がありました。料理と一緒に作る事で世代を超えての交流ができ、会員同士の距離も近くなりました。
- ・ 試食をしながらの交流会では自己紹介も兼ねながら、ファミサポへの思いなどを話していただきました。まかせて会員として長年活動してこられた方の話を聞き、おねがい会員として登録された方も心強く感じられたようです。

### ③ヨガ体操

- ・ 静かな音楽に合わせてゆっくりと体を動かし、心と体のリフレッシュをしました。
- ・ 地域ごとに小グループに分かれて交流会をしました。自分が住んでいる近くにサポートしていただけるまかせて会員がいることを知り、心強く感じられた方もおられました。

\* 会員同士が出会う機会が少ないので、いろいろな交流会を開催することで交流を深める



ことができました。来年度も会員の意見を取り入れ有意義な交流会にしていきたいです。

○講習会実績

(単位：人)

講習会名	開催日	内 容	参加者数
第1回 まかせて会員講習会	平成30年 6月12日(火)	説明会・登録会	7
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	11
		子どもの権利(人権)について	12
	6月16日(土)	子どもの発達、生活習慣と遊び	12
		まかせて会員として活動するために	12
子育て支援 ネットワーク事業	6月20日(水)	普通救命講習会AED	12
第2回 まかせて会員講習会	9月21日(金)	説明会・登録会	11
		子どもの権利(人権)について	15
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	13
	9月22日(土)	子どもの発達・生活習慣と遊び	10
		まかせて会員として活動するために	10
子育て支援 ネットワーク事業	10月3日(水)	普通救命講習会AED	10
フォローアップ 講習会	5月30日(水)	交通安全教室	11
レベルアップ 講習会	10月29日(月)	「ともに生きる」～ひとりひとりが輝いて生きられる社会をめざして～	14
第3回 まかせて会員講習会	平成31年 1月28日(月)	説明会・登録会	3
		子どもの権利(人権)について	4
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	4
	1月29日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び	10
		まかせて会員として活動するために	10
子育て支援 ネットワーク事業	1月16日(水)	普通救命講習会AED	4
合 計			195

【成果と課題】

①まかせて会員講習会

- ・ 今年度のまかせて会員講習会は子育て中の方や孫育て中の方がたくさん受講をしてくださり、ファミサポに興味・関心を持たれる方が多くなっています。
- ・ まかせて会員講習会受講後、一時預かりの依頼があった子どもをかめおかっこひろばで預かっていただき、活動に結びついたことは良かったです。
- ・ 亀岡市役所の広報誌を見て、まかせて会員講習会の受講申し込みをされる方もおられますが、より多くの方に受講していただけるよう、かめおかっこひろば利用者に誘いかけるなど、広報活動をしていく必要があります。

## ②フォローアップ講習会（交通安全教室）

- ・ 亀岡警察署の方に来ていただき交通安全教室をしました。チャイルドシート非着用時のダミー人形を使った交通事故DVDを見た後、チャイルドシート着用の義務化と必要性について、話をしていただきました。まかせて会員活動時も車を使った活動が多いため、気持ちを引き締める良い機会になりました。

## ③レベルアップ講習会（中村雄一さんによるお話）

- ・ 諸星塾で仕事をされている中村さんに「ひとりひとりが輝いて生きられる社会をめざして」という題で話をしていただきました。諸星塾では障がいの有無に関わらずみんなが輝いて生きることができる居場所作りをされています。自分がここにいてもいいと感じられる心地よい居場所があることが必要であると感じました。

# 9. 第31回市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪！かめおかの輪！～

## （1）内容

### ◇オープニングセレモニー

独唱 「関本 泰輝」

手話コーラス 「四季の会」 （ふれあいフェスティバル2018）

### ◇開会式

- ・ 表彰（亀岡市社会福祉協議会）

市社協から地域福祉の向上に功績のあった方々に対して表彰及び感謝状を贈呈しました。

会長表彰	個人5名	1団体
職員表彰	生活支援員	1名
感謝状贈呈	1団体	

### ◇アトラクション

- ・ 盲導犬デモンストレーション（国際ソロプチミスト亀岡・関西盲導犬センター）
- ・ 和太鼓演奏（介護老人福祉施設 陽生苑 和太鼓クラブ「太陽」）
- ・ 楽器演奏と唄（NewBappers）
- ・ 認知症予防ゲーム（みんなの認知症予防ゲーム亀岡）
- ・ これから音頭・光秀音頭・丹波音頭（亀岡市老人クラブ連合会）
- ・ ハワイアン・フラ（ハラウ・フラ・オ・カワイルナ）

### ◇1階ロビーギャラリー

ボランティア活動紹介コーナー他・喫茶コーナー（亀岡ボランティア連絡協議会） 福祉の店（亀岡福祉会・太陽共同作業所・みんなではたらく・亀岡地区更生保護女性会・松花苑ワークスおーい・国際ソロプチミスト亀岡・母子寡婦福祉会）福祉なんでも相談（社会福祉士会）・里親相談（京都府家庭支援総合センター）認知症啓発・相談（京都丹波オレンジロードつなぎ隊）

デイ部会合同作品展（デイ部会）車椅子貸出、集めておくるボランティア（市社協）「生きがい曾我部」活動教室作品展示・亀岡市内サロンマップ・ボランティアセンターコーナー（市社協）・「いけばな・リサイクルアート」（亀岡市社会福祉施設協議会）災害ボランテ

ィアセンター（市社協）

豪雨災害パネル展・災害ボランティア資材・土嚢袋に応援メッセージを描こう  
イベント募金（ポップコーン・スーパーボールすくい）（地区社会福祉協議会）  
社会貢献活動紹介（亀岡青年会議所）・ホームヘルプセンター活動紹介（市社協）

- ◇模擬店
- うどん（亀岡市子ども会育成連絡協議会）
  - 綿菓子（支援センター圭）
  - ホットケ芋（みんなではたらく）
  - カレー・から揚げ・出し巻・おにぎり  
ポテトフライ（中川商店）
  - 弁当・ちらし寿司・炊き込みご飯（よし峯）
  - ぶどうあめ（亀岡友愛園）

◇1 階 コンベンションホール

チャリティーバザー（民生委員児童委員協議会 福祉部会）

◇わくわくふれあい広場

日本庭園前

こども広場【遊びのコーナー】（ボーイ・ガールスカウト）

ミニ電車乗車コーナー（保津川ライブスチームクラブ）

工作室

ミニ帽子・万華鏡作り（亀岡地区更生保護女性会）

おじゃみ・バルーンアート（亀岡市老人クラブ連合会）

おりがみあそび（亀岡市障害児者を守る協議会）

創作室

親子ふれあいひろば（民生委員児童委員協議会主任児童委員）

◇ふれあいプラザ

子育て支援センター

ファミリーサポートセンター紹介

◇お楽しみ抽選会

（2）実行委員会の開催

- ・開催回数 2回（平成30年8月22日（火）・11月27日（月））
- ・構成団体 45団体

【実績報告】

「つながりあおう！地域の輪！かめおかの輪！」をテーマに障害児者、高齢者、親と子、世代を超えてさまざまな人が集い、交流しお互いに思いやり、共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティの形成を目指して、地域福祉の輪を広げることを目的に開催しています。

特に今回は新たな取り組みとして、ふれあいフェスティバル・健康いきいきフェスティ

バルと3事業合同開催であり、健康と福祉を共に考える場としてより多くの市民の方に参加して頂けたものと思っております。新規のアトラクションとして、介護老人保健施設陽生苑の和太鼓クラブ「太陽」さんによる和太鼓演奏や、亀岡署のメンバーで構成されているNewBappersさんによる楽器演奏と唄など、世代を超えた方々の参画で会場が活気づき来場者の皆様により楽しんで頂くことが出来ました。また、災害ボランティアセンターの取組みとして、災害ボランティア活動や取組みの紹介、7月からの災害対応によるつながりの中から、ボランティアさんの思いや活動時のパネル展示もさせていただく中、参加者の皆様へ防災意識の啓発にもなりました。

【構成団体（順不同）45団体】

亀岡市民生委員児童委員協議会	亀岡地区社会福祉協議会	亀岡青年会議所
亀岡市社会福祉施設協議会	曾我部町地区社会福祉協議会	亀岡商工会議所女性会
亀岡保津川ライオンズクラブ	保津町社会福祉協議会	亀岡地区更生保護女性会
亀岡市身体障害者福祉協会	吉川町地区社会福祉協議会	亀岡ライオンズクラブ
亀岡ボランティア連絡協議会	本梅町地区社会福祉協議会	亀岡ロータリークラブ
日本ボーイスカウト亀岡第1団	蒔田野町地区社会福祉協議会	亀岡中央ロータリークラブ
ガールスカウト京都第57団	篠町地区社会福祉協議会	国際ソロプチミスト亀岡
亀岡市障害児者を守る協議会	宮前町地区社会福祉協議会	亀岡市母子寡婦福祉会
亀岡市子ども会育成連絡協議会	亀岡地区東部社会福祉協議会	太陽共同作業所
亀岡スポーツ推進委員会	東つつじヶ丘地区福祉協議会	亀岡市老人クラブ連合会
亀岡デイ部会	南つつじヶ丘地区社会福祉協議会	かめおか遊友ネットワーク
京都府家庭支援総合センター	亀岡地区中部社会福祉協議会	亀岡飲料連合会
京都丹波オレンジロードつなげ隊	京都社会福祉士会	(株)みんなではたらく
(福)友愛会 亀岡友愛園	(福)信和福祉会 圭の家	亀岡市
(福)松花苑ワークスおーい	(福)亀岡福祉会	亀岡市社会福祉協議会

(3) 協賛先名簿（順不同、敬称略）

No.	企業名	No.	企業名	No.	企業名
1	(協) 亀岡ショッピングセンターアミティ	37	パティスリーシェ・サンタ	73	竹岡醤油(株)
2	S A I W A I B r a i n s	38	開けゴマ・齋藤鍼灸院	74	内藤印刷(株)
3	犬甘野営農組合	39	藤村種苗園	75	前田興業(株)
4	医療法人 吉岡整形外科医院	40	平 壤 亭	76	江守石油(株)
5	魚留河原町店	41	ホームセンターコーナン亀岡大井店	77	南丹清掃(株)
6	浦田歯科医院	42	保津町自治会	78	能勢クリーニング(株)
7	エイコ美容室	43	保津町社会福祉協議会	79	マンマル産業(株)
8	オクノ電化	44	本家かまどや クニッテル店	80	矢田石油(株)
9	カフェたんぽぽ	45	マインクラフト	81	渡辺製菓(株)
10	サロン・ド・はる	46	亀岡石油商業組合	82	八千代ケアサポート(株)
11	亀岡金融会	47	薪窯パンふくくる	83	山口電機(株)つつじヶ丘支店
12	亀岡商工会議所	48	圓山縫製	84	(株) 亀岡給食センター
13	あずきの里 京菓子 ふじ幸	49	山内スポーツ	85	(株) ウ イ ズ
14	木曾精肉店	50	山田精巧社	86	(株) 京都協同管理
15	木村測量登記事務所	51	夢コスモス園プロジェクト実行委員会	87	(株) ウ エ ダ
16	京都信用金庫 亀岡支店	52	龍 潭 寺	88	(株) 魚留大井本店
17	京都農業協同組合	53	湯の花温泉観光旅館協同組合	89	(株) 栄好工務店
18	京都北都信用金庫 亀岡支店	54	洋菓子館 ベルジェノア	90	(株) エス・アール・エム南丹支店
19	さか井食堂	55	味 楽	91	(株) カーショップ・ナカイ
20	サラダ館 篠店	56	ヨメ学・マジックサロン	92	(株) コ ク ボ
21	三 究 プ リ ン ト	57	京 都 烟 河	93	(株) 三 煌 産 業
22	塩 武	58	介護老人保健施設 陽生苑	94	(株) 親 愛
23	税理士法人 b e	59	(有) 楠新聞舗 南丹旅行	95	(株) ダ ス キ ン 伏 見
24	すみや 亀峰庵	60	(有) オ ビ ヤ 商 事	96	(株) 天 声 社
25	税理士法人 平田会計事務所	61	(有) 関西整備車検センター	97	(株) ビ ー ・ ネ ク ス ト
26	田 中 紙 店	62	(有) 倉 昇 工 務 店	98	(株) 平和堂 アルプラザ 亀岡
27	タ マ テ ル 吉 村 信	63	(有) サ ー テ ィ ワ ン	99	(株) 松 園 荘
28	中 華 料 理 広 東	64	(有) 沼 田 モ ー タ ー ス	100	(株) マ ツ モ ト
29	中 国 料 理 彩 桂	65	(有) 光 嶋 建 築 事 務 所	101	(株) や ま ざ き 商 店
30	天 然 酵 母 パ ン グ リ ム	66	(有) 雅	102	(株) 栄 広 堂
31	朝 日 堂	67	(有) 楠 新 聞 舗	103	(株) 小 城 製 菓
32	と く 涛	68	(有) 山 本 乳 販	104	(株) 小 林 製 作 所
33	十 倉 康 吉 商 店	69	大 石 酒 造(株)	105	(株) 前 平 電 機
34	西 岸 寺	70	京 都 タ ク シ ー(株)	106	(株) 伊 藤 園
35	西 台 卓 球 場	71	新 京 都 タ ク シ ー(株)	107	匿 名 5 件
36	農事組合法人 千ヶ畑営農組合	72	玉 川 楼(株)		

## 10. 共同募金事業

### ○赤い羽根共同募金募金実績（亀岡地区支会扱い）

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
戸別募金	6,168,074 円	6,463,714 円	6,621,099 円
その他	1,107,883 円	1,155,522 円	1,049,472 円
合計	7,275,957 円	7,619,236 円	7,670,571 円

### ○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地元の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所	ガレリアかめおか（余部町）	3 台
	東部文化センター（篠町）	1 台
	亀岡市シルバー人材センター（追分町）	1 台

### ○イベント募金

赤い羽根共同募金の募金額を増やすとりくみとして、市全体を対象に実施されるイベント（光秀祭り等）や、各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流になる住民イベント等）に市社協として参画しました。各イベントにおいて、「ポップコーン」や「ワッフル」、「スーパーボールすくい」を販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。

集まった募金は、翌年度の「赤い羽根共同募金地域助成金」として、「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただきました。また、各イベントに参加させて頂くことにより、地域の皆さまと顔の見える関係づくりをさせて頂けました。

実施においては、亀岡中学校学習探究部にも協力していただきました。

イベント名	募金額
第46回亀岡光秀祭り	109,940 円
安町夏祭り	9,116 円
畑野町夏祭り	4,200 円
蒔田野町夏祭り	6,545 円
亀岡園夏祭り	10,200 円
第31回市民福祉のつどい	30,000 円
亀岡地区東部フェスタ	13,760 円
宮前町民フェスティバル	9,361 円
東本梅町ふれあい祭り	4,800 円
第7回きょうと地域福祉実践交流会	5,161 円
合計	203,083 円

○赤い羽根共同募金 助成金事業 実績

事業区分		対象事業	目的・事業内容	事業数	H30年度 交付実績額
特別枠(3)		本会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		4	430,000 円
1  地域を知り、 住民参加を 図る	A	福祉マップの作成・更新	支援を要する方や地域内の福祉関係施設・機関等の地図の作成。	0	0 円
	B	“わたしたちの周りの 福祉問題を考える会”の 実施	各町全体または各区ブロック毎で、地域の福祉問題等を話し合う。 当事者(一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障 がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等)毎に懇談会の実施。	1	50,000 円
	C	アンケートの実施などによる 活動調査	当事者(一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障 がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等)の生活課題アンケート等 により把握する。	0	0 円
	D	新たな担い手 (ボランティア)の養成・ 組織化	福祉やボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募り、ボラ ンティア入門講座 の実施や組織化をおこなう。	4	219,000 円
2-①  学びあう活動	A	地域福祉、福祉課題別の 理解促進のための研修	役員やボランティア、地域住民等を対象に地域福祉や高齢や障害、 子育て等に関する研修会を実施する。	3	230,000 円
	B	介護教室や手話教室、 車いす講習等実技講習	役員やボランティア、地域住民等を対象に当事者への理解を深める ための実技講習を実施する。	0	0 円
	C	まちづくり点検調査などの 体験学習	役員やボランティア等が様々な体験グッズ等を用いて、地域内を廻 ることにより高齢や障害についての理解を深めるとともに、結果を地 域住民に発信する。	0	0 円
	D	子どもたちと地域をつなぐ 福祉教育	地域のサロンに、子ども達が出向き高齢者や障がい者との交流活動 や、学校の空き教室を活用した出前カフェの実施、また、地域の福 祉マップづくりを作成することにより自分のまちを知り、理解するきつ かけとなるようにする。	5	145,000 円
2-②  ふれあう活動	A	当事者の交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい 者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者同士の交流を図る。	9	416,000 円
	B	当事者の交流活動 地域行事参加促進	高齢者や障がいのある人等が地域行事に気軽に参加できるように、 呼びかけや行事内容を工夫する。	5	345,000 円
	C	福祉施設との交流活動	地域にある福祉施設との交流を深め、施設行事等への協力をおこ なったり、地域活動の充実を図っていくために連携・協働をすすめる。 る。	1	15,000 円
2-③  支えあう活動	A	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、 子育て家族、ひきこもり、虐待等を定期的に訪問し見守るとともに、 相談を受けたり必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	1	50,000 円
	B	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リー ダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	30	2,094,000 円
市社協が おこなう 地域福祉 推進事業		災害見舞金	災害被災者見舞金、火事見舞い金	21	83,000 円
		イベント募金を財源とした 「地域助成金」事業	イベント募金を財源とする「地域助成金」および、イベント募金事業 実施経費	8	190,652 円
		ふれあいサロン活動 支援事業	ふれあいサロンなど地域での居場所や支えあい活動推進事業	1	194,560 円
		ボランティア育成支援事業	ボランティア7の日事業、ボランティア活動推進事業、パソコン講座 等	1	144,668 円
		福祉体験学習事業	夏休み福祉体験事業、福祉教育(通年)推進事業	1	22,523 円
		地域活動推進事業・ 共同募金事業の広報活動	社協かめおかによる共同募金事業の広報活動、 社会的孤立防止対策見守り活動事業「ひきこもり家族支援」等	2	212,716 円
事務経費		共同募金助成事業 経費	配分金助成事業のための、通信運搬費、振込手数料、印刷経費等		98,036 円
合 計				97	4,940,155 円

助成金申請や報告書提出時の取りまとめについて、相談期間を設け、申請団体の立場に立っての支援を心掛けました。実施状況についてもできる限り活動の現場に実際に足を運ぶなかで確認し、共同募金の趣旨に沿った実施となるよう、地域の活動者に説明をおこないました。

また、助成金の単なる配分事業でなく、運営相談や地域住民のニーズ聞き取り等も行い『共同募金と地域支援活動の一体化』をこころがけました。（訪問回数39回）

## 11. 歳末たすけあい運動の実施

### (1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
  - ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
  - ・ ガールスカウト京都府連盟第57団
  - ・ 亀岡市母子寡婦福祉会
  - ・ 亀岡市PTA連絡協議会
  - ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
  - ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
  - ・ 亀岡市老人クラブ連合会
  - ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
  - ・ 京都学園大学教育修学支援センター
- （順不同）

### (2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅（見舞金）	925件	4,625,000
施設配分	みかん箱49箱・タオル・石鹸・ティッシュペーパー・トイレットペーパー	158,760
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	2,298,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	50,000
事務費	印刷製本、消耗品等、団体協力費	403,302
次年度繰越金	共同募金会へ	167,496
合 計		7,702,558

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

#### ○在宅（見舞金）の内訳

配 分 対 象	対象者数（人）	配分単価（円）	金 額（円）
寝たきり・認知症高齢者	88	5,000	440,000
重度障害児者	748		3,740,000
交通遺児	11		55,000
被爆・公害患者	14		70,000
その他支援を必要とする家庭	644		320,000
合 計	925		4,625,000

#### ○配分先施設の内訳

・ 青葉学園	・ かめおか作業所	・ 第二亀岡園
・ 花ノ木医療福祉センター	・ 第二かめおか作業所	・ 第二亀岡園ケアハウス
・ 松花苑かしのき	・ 第三かめおか作業所	・ 亀岡友愛園（軽費老人ホーム）
・ ワークスおーい	・ 太陽共同作業所	・ 亀岡友愛園（特別養護老人ホーム）
・ 圭の家	・ 亀岡園	・ 関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ ケアハウス朝野	・ こもれび	・ 陽生苑
・ 亀岡たなばたの郷		



(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	6, 5 3 3, 4 6 4
篤 志 者 寄 付 金	7 7 0, 4 3 6
街 頭 募 金	2 9 3, 3 4 2
小 計	7, 5 9 7, 2 4 2
前 年 度 繰 越 金	1 0 5, 3 1 6
合 計	7, 7 0 2, 5 5 8

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	4 6 9, 4 0 0	大 井 町	6 1 8, 6 0 0
亀岡中部地区	4 7 0, 6 5 0	千 代 川 町	6 2 7, 4 0 0
亀岡西部地区	3 8 6, 7 6 0	馬 路 町	1 5 7, 4 0 0
東 別 院 町	1 6 5, 3 0 0	旭 町	8 6, 8 0 0
西 別 院 町	9 6, 4 0 0	千 歳 町	1 3 5, 2 0 0
曾 我 部 町	3 3 5, 3 5 0	河 原 林 町	9 5, 8 0 0
吉 川 町	6 7, 3 0 0	保 津 町	2 0 3, 2 0 0
葎 田 野 町	2 7 3, 7 0 0	篠 町	1, 1 4 0, 6 0 4
本 梅 町	1 7 4, 7 0 0	東つつじヶ丘	1 5 8, 9 0 0
畑 野 町	6 7, 5 0 0	西つつじヶ丘	2 9 3, 9 0 0
宮 前 町	1 4 5, 0 0 0	南つつじヶ丘	2 9 2, 8 0 0
東 本 梅 町	7 0, 8 0 0	合 計	6, 5 3 3, 4 6 4

○篤志者寄付金内訳 (順不同・敬称略)

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
中村 功	1 0, 0 0 0
河原林 正昭	1 0, 0 0 0
松井 やす子	5, 0 0 0
藤本 邦雄	5, 0 0 0
福岡 澄	1 0, 0 0 0
亀岡金融会	2 0, 0 0 0
J A京都亀岡女性部 八重桜の会	5 0, 0 0 0
亀岡建設業協会	1 0, 0 0 0
亀岡市 P T A連絡協議会	1 3 9, 7 2 7
湯の花温泉観光旅館協同組合	1 0, 0 0 0
天理教亀岡大教会	1 2, 5 0 0
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	1 0, 0 0 0

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
亀岡ロータリークラブ	5, 0 0 0
亀岡中央ロータリークラブ	5, 0 0 0
社交ダンスサークルもみの木会	2 0, 0 0 0
Hair Face SAIWAI Brainns	6, 1 3 2
川東地区佛教会	1 5 0, 0 0 0
宗教法人 大本 広報渉外課	3 4, 6 2 4
亀岡市老人クラブ連合会定期大会出席者	6, 4 2 5
亀岡商工会議所	2 0, 0 0 0
亀岡市民生委員児童委員協議会	5 6, 0 0 0
亀岡青年会議所にのうみ会	1 5 0, 0 0 0
社協職員	2 2, 4 0 0
ふれあいプラザ募金箱	2, 6 2 8
合 計	7 7 0, 4 3 6

(4) 物品寄付 (敬称略)

氏 名	寄 付 品
亀岡市 P T A 連絡協議会	タオル：417 枚 石鹸：494 個 ティッシュペーパー：154 箱 トイレットペーパー：96 ロール その他

(5) 年末年始事業

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加者数 (人)
亀 岡 地 区	亀岡地区東部社会福祉協議会	交流会(紙芝居・民謡鑑賞・ゲーム等)	ひとり暮らし高齢者	3 4
	亀岡地区中部社会福祉協議会	交流会(音楽鑑賞、健康体操)	ひとり暮らし高齢者	9 6
	下矢田町 5 自治会	昼食会、歌謡ショー	ひとり暮らし高齢者 65 歳以上	2 6
	亀岡地区西部自治会	歌謡ショー、昼食会、抽選会	ひとり暮らし高齢者	6 8
東 別 院 町	東別院町自治会	みかん・つるし柿の配布	ひとり暮らし高齢者	6 0
西 別 院 町	西別院町自治会	おせち料理配食事業 児童図書カード等の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	2 9
曾 我 部 町	曾我部町自治会	独居老人、ひとり親家庭世帯 への配食サービス	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 0 3
吉 川 町	吉川町自治会	エコ湯たんぽ配布	ひとり暮らしの 75 歳以上の高齢者	2 5
蒔 田 野 町	蒔田野町地区社会福祉協議会	もちつき大会	全町民	3 5 0

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加者数 (人)
本 梅 町	本梅町地区社会福祉協議会	ふれあいサロン、ひとり暮らし高齢者・一人親家庭へお菓子配付	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	6 5
畑 野 町	畑野町自治会	宝来さん（正月のお祝い）配布	ひとり暮らし高齢者	8 4
宮 前 町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理配食事業、友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	3 8
東 本 梅 町	東本梅町自治会	高齢者と子供の世代間交流 しめ縄作り	全町民	2 5 0
大 井 町	大井町自治会	お茶漬けセットの配布、友愛訪問	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	1 9 0
千 代 川 町	千代川町自治会	親睦会（気功、バンド演奏、歌、ゲーム等）	高齢者・要支援高齢者	1 4 0
馬 路 町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	花と果物の配布	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	4 3
旭 町	旭町自治会	高齢者と児童の交流	高齢者全般 児童・ボランティア	1 4 5
千 歳 町	千歳町自治会	サロンの開催、防犯防火・健康等講習会、ゲーム	75 歳以上の高齢者 ひとり暮らし高齢者世帯	1 5 5
河 原 林 町	河原林町自治会	正月用（寄せ植え）づくり	75 歳以上又はひとり暮らし高齢者	8 4
保 津 町	保津町社会福祉協議会	記念品と見舞金のお届け、友愛訪問	独居高齢者・寝たきり高齢者、障害者、低所得者	1 7 4
篠 町	篠町自治会	おもてなしセットと挨拶状配布（友愛訪問）	民生児童委員訪問家庭 高齢者支援必要な家庭	4 5 6
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	もちつき交流会	高齢者全般 児童・ボランティア	4 5 0
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もち配布・家庭訪問。安否確認	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 4 3
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち配布、新春交流会	ひとり暮らし高齢者、 ひとり親家庭	1 2 2
合 計	2 4 団体			3, 3 3 0